
帯広市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
(要支援認定者及び一般高齢者)
結果報告書

令和5年3月
帯広市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象及び調査方法.....	1
(3) 配布数及び回収結果	1
2. 本調査の基本的な事項	1
(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	1
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【要支援認定者及び一般高齢者】	2
1. 自身のことについて	2
(1) 回答者	2
(2) 性別	2
(3) 年齢.....	2
(4) 居住地域	3
(5) 要介護状態の認定区分.....	3
2. 家族や生活状況について.....	4
(1) 家族構成	4
(2) 普段の生活での介護・介助の必要.....	5
(4) 主な介護者.....	7
(5) 経済的に見た現在の暮らしの状況.....	7
3. からだを動かすことについて.....	8
(1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る.....	8
(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる	9
(3) 15分位続けて歩く	9
(4) 過去1年間の転倒経験.....	10
(5) 転倒に対する不安	10
(6) 外出の頻度.....	11
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っている	12
(8) 外出を控えている	13
(9) 外出を控えている理由.....	13
4. 食べることについて	14
(1) BMI.....	14
(2) 半年間で2～3kg以上の体重減少	14
(3) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった.....	15
(4) 歯の数と入れ歯の利用状況	15

(5) 誰かと食事をともにする機会	16
(10) 外出する際の移動手段	17
5. 毎日の生活について	18
(1) 物忘れが多いと感じる	18
(2) バスや電車を使って1人で外出している	19
(3) 自分で食品・日用品の買い物をしている	19
(4) 自分で食事の用意をしている	20
(5) 自分で請求書の支払いをしている	20
(6) 自分で預貯金の出し入れをしている	21
(7) スマートフォン（アプリやSNSなど）を利用している	21
6. 地域での活動について	22
(1) 会やグループ等への参加状況	22
(2) 地域活動への参加者としての参加意向	23
(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向	24
7. たすけあいについて	25
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	25
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	26
(3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人	27
(4) 看病や世話をしてあげる人	28
(5) 家族や友人、知人以外の相談相手	29
(6) 友人・知人と会う頻度	30
(7) よく会う友人・知人との関係	30
(8) 支援が必要になったとき、望む支援	31
(9) 自らが周囲に出来る支援	32
(10) 緊急時にひとりで避難することができる	32
(11) ひとりで避難できない理由	33
(12) 緊急時に手助けを頼める人	34
(13) 孤立・孤独を感じる事	34
(14) コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じる事が増えた	35
(15) コロナ禍による日常生活への変化	36
8. 健康について	37
(1) 現在の健康状態	37
(2) 現在の幸せの程度	37
(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる	38
(4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない	38
(5) 飲酒習慣の有無	39
(6) 喫煙習慣の有無	39

(7) 現在治療中または後遺症のある病気.....	40
(8) 認知症の症状があるまたは家族に症状がある.....	41
(9) 認知症に関する相談窓口を知っているか.....	41
9. かかりつけ医について.....	42
(1) かかりつけ医について.....	42
(2) 自宅で訪問診療を受けているか.....	42
10. 保健福祉サービスなどについて.....	43
(1) 「地域包括支援センター」の認知.....	43
(2) 利用意向：健康づくりに関する教室や相談等.....	44
(3) 利用したくない理由：健康づくりに関する教室や相談等.....	44
(4) 利用意向：特定健診やがん検診.....	45
(5) 利用したくない理由：特定健診やがん検診.....	45
(6) 利用意向：介護予防事業（げんき活動コース）.....	46
(7) 利用したくない理由：介護予防事業（げんき活動コース）.....	46
(8) 利用意向：地域交流サロン.....	47
(9) 利用したくない理由：地域交流サロン.....	47
(10) 利用状況：民間の配食サービス.....	48
(11) 使用していない理由：民間の配食サービス.....	48
(12) 利用状況：民間の安否確認サービス.....	49
(13) 使用していない理由：民間の安否確認サービス.....	49
(14) 利用状況：民間の緊急通報サービス.....	50
(15) 使用していない理由：民間の緊急通報サービス.....	50
(16) 利用状況：その他.....	51
11. 将来の住まいについて.....	52
(1) 介護が必要になったとき：暮らしたい場所.....	52
(2) 介護が必要になったとき：負担可能額／月.....	52
(3) 意思表示が出来なくなった時に備えて家族と話し合ったこと.....	53
(4) 最期を迎えたい場所.....	53
(5) 医療機関や介護施設等で最期を迎えたい理由.....	54
12. 介護保険制度について.....	55
(1) 介護保険制度の内容についての理解.....	55
(2) 1か月あたりの適当な自己負担額.....	56
(3) 介護保険料の負担感.....	57
(4) 介護保険制度全般に対する意見等.....	57

I 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、帯広市における高齢者の介護サービスの利用実態を把握し、帯広市高齢者福祉計画の見直し及び第九期介護保険事業計画の策定のための基礎資料とするために実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内にお住まいの要支援の認定を受けている方、65歳以上の方
配布数	3,000
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送法（WEB回答併用）
調査時期	令和5年1月
調査地域	帯広市全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,938 【内訳】紙回答 1,849 (95.4%)、WEB回答 89 (4.6%)
有効回収率	64.6%

2. 本調査の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

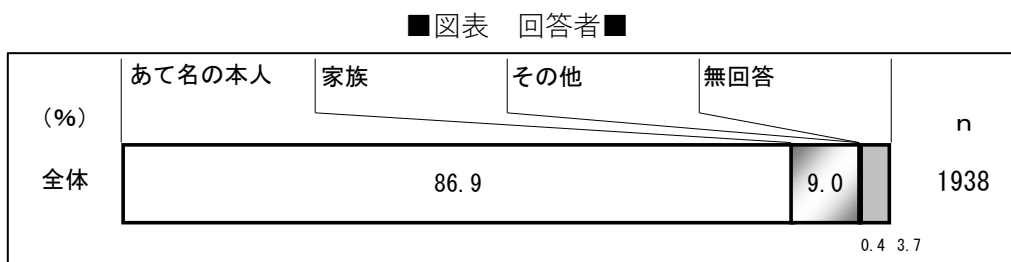
- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査【要支援認定者及び一般高齢者】

1. 自身のことについて

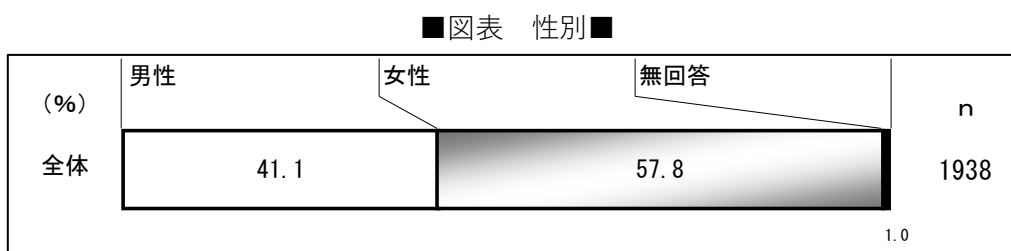
(1) 回答者

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。



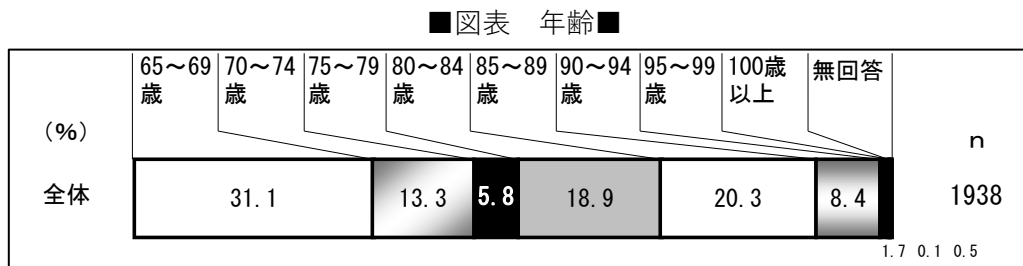
(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。



(3) 年齢

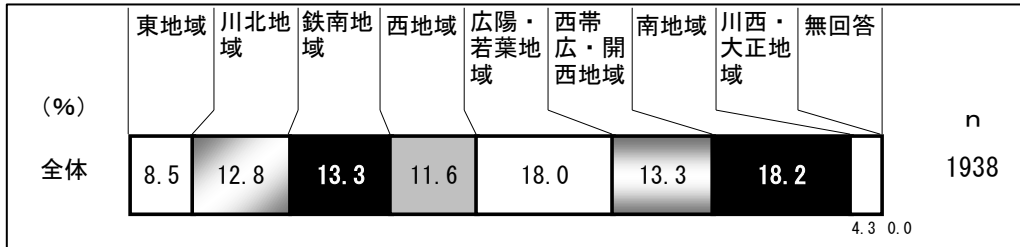
問3 あなたの年齢を教えてください。(令和5年1月1日現在)



(4) 居住地

問4 あなたの居住地域を教えてください。

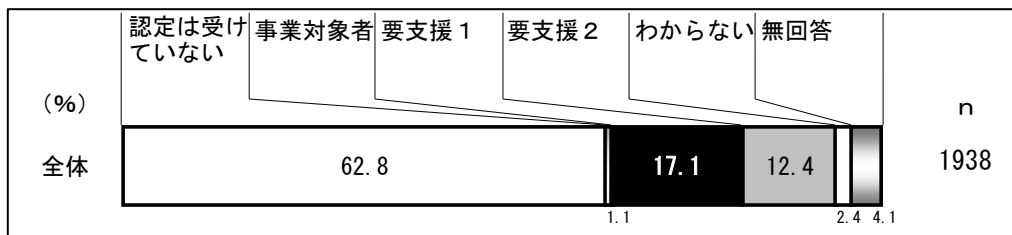
■図表 居住地■



(5) 要介護状態の認定区分

問5 あなたは事業対象者もしくは要支援の認定を受けていますか。

■図表 要介護状態の認定区分■



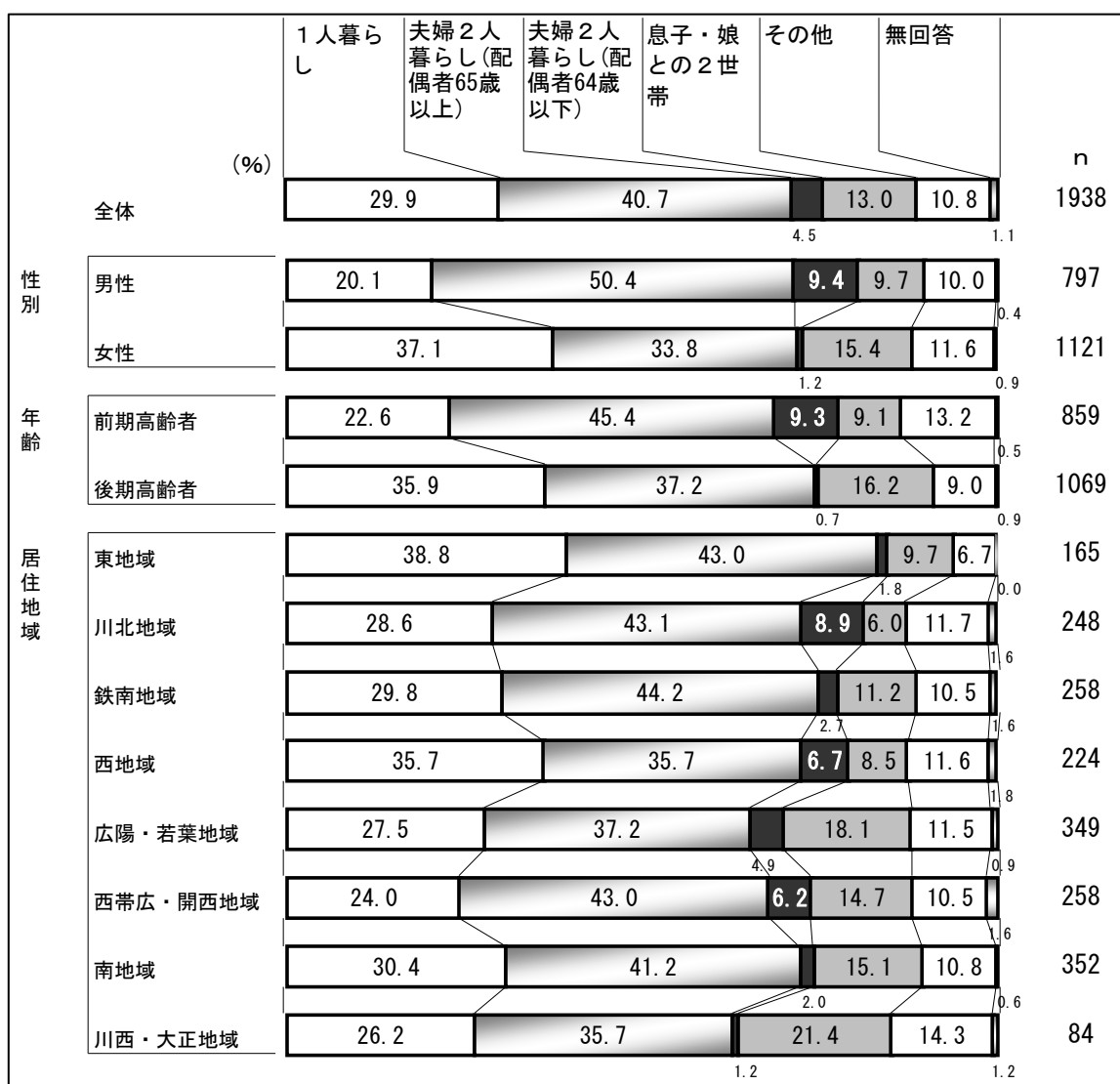
2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

問6 あなたの家族構成を教えてください。

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(40.7%)、「1人暮らし」(29.9%)、「息子・娘との2世帯」(13.0%)、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」(4.5%)。

■図表 家族構成■

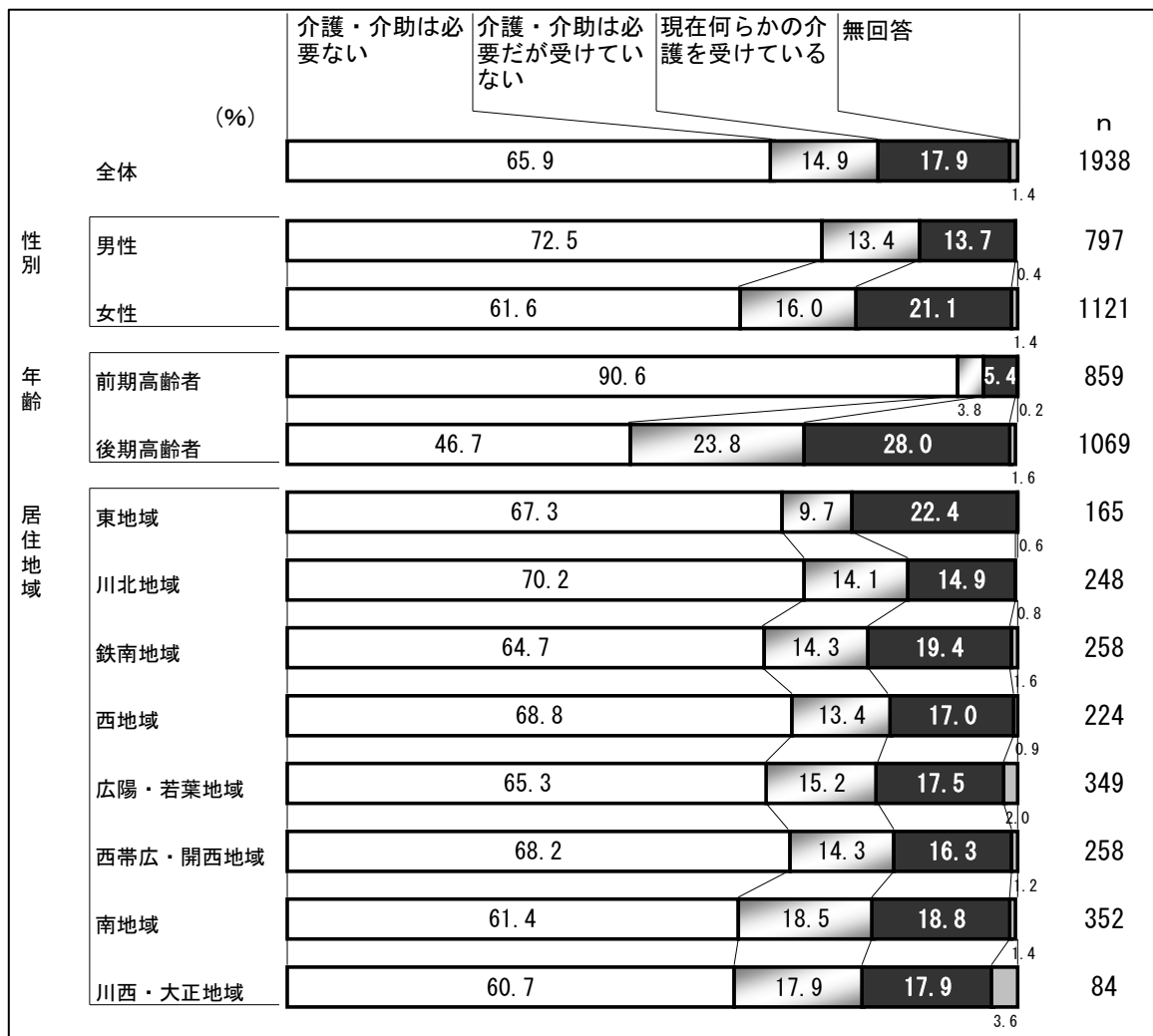


(2) 普段の生活での介護・介助の必要

問7 あなたは、普段の生活で介護・介助が必要ですか。

「介護・介助は必要ない」(65.9%)、「現在何らかの介護を受けている」(17.9%)、「介護・介助は必要だが受けていない」(14.9%)。

■図表 普段の生活での介護・介助の必要■



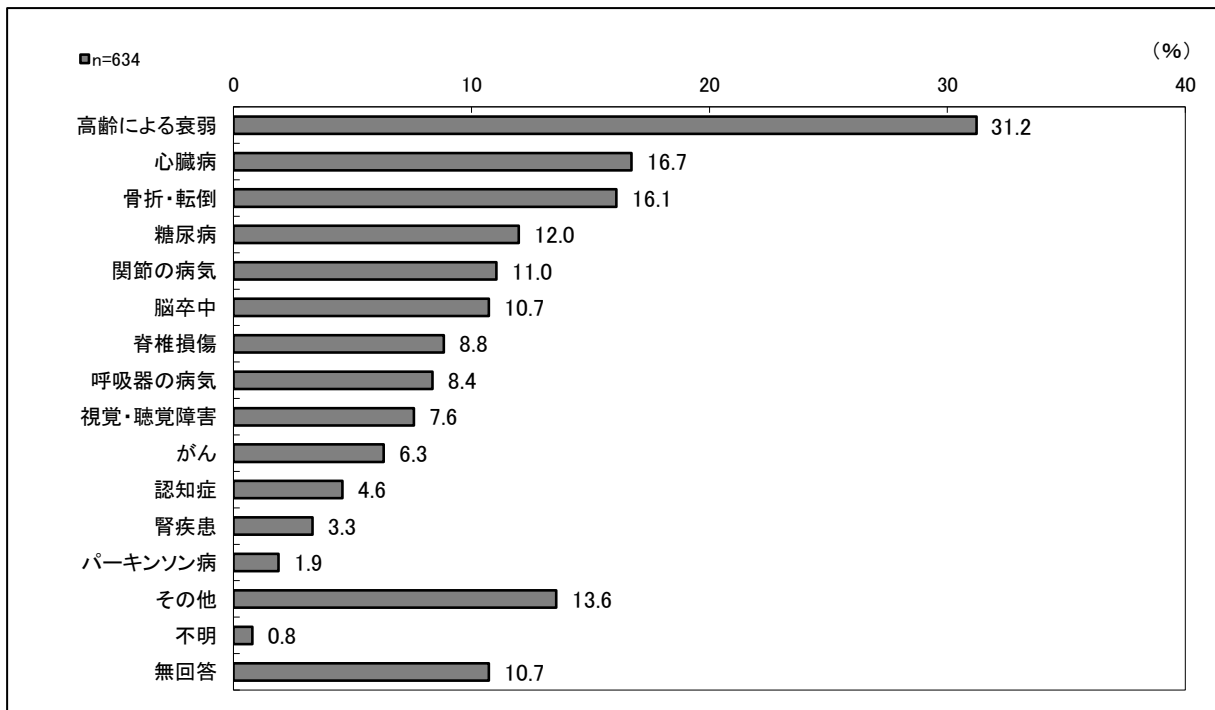
(3) 介護・介助が必要になった原因

※ 問7で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。

問7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。【複数回答】

「高齢による衰弱」(31.2%)が第1位。
「心臓病」(16.7%)、「骨折・転倒」(16.1%)、「糖尿病」(12.0%)、「関節の病気」(11.0%)、「脳卒中」(10.7%)等がこれに続く。

■図表 介護・介助が必要になった原因■

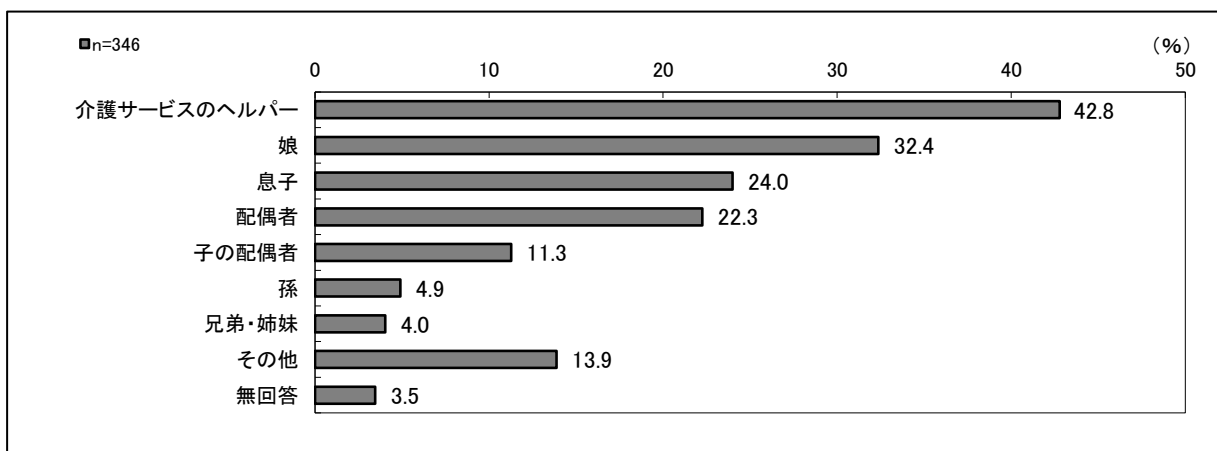


(4) 主な介護者

※ 問7で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。
問7-2 主にどなたから介護・介助を受けていますか。【複数回答】

「介護サービスのヘルパー」(42.8%)が第1位。
「娘」(32.4%)、「息子」(24.0%)、「配偶者」(22.3%)、「子の配偶者」(11.3%)等がこれに続く。

■図表 主な介護者■

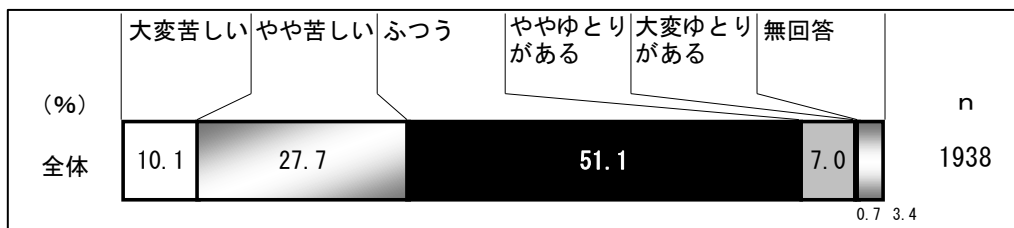


(5) 経済的に見た現在の暮らしの状況

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

「大変苦しい」(10.1%)、「やや苦しい」(27.7%)が、合わせて37.8%。
「大変ゆとりがある」(0.7%)、「ややゆとりがある」(7.0%)、は合わせて7.7%。

■図表 経済的に見た現在の暮らしの状況■



3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る

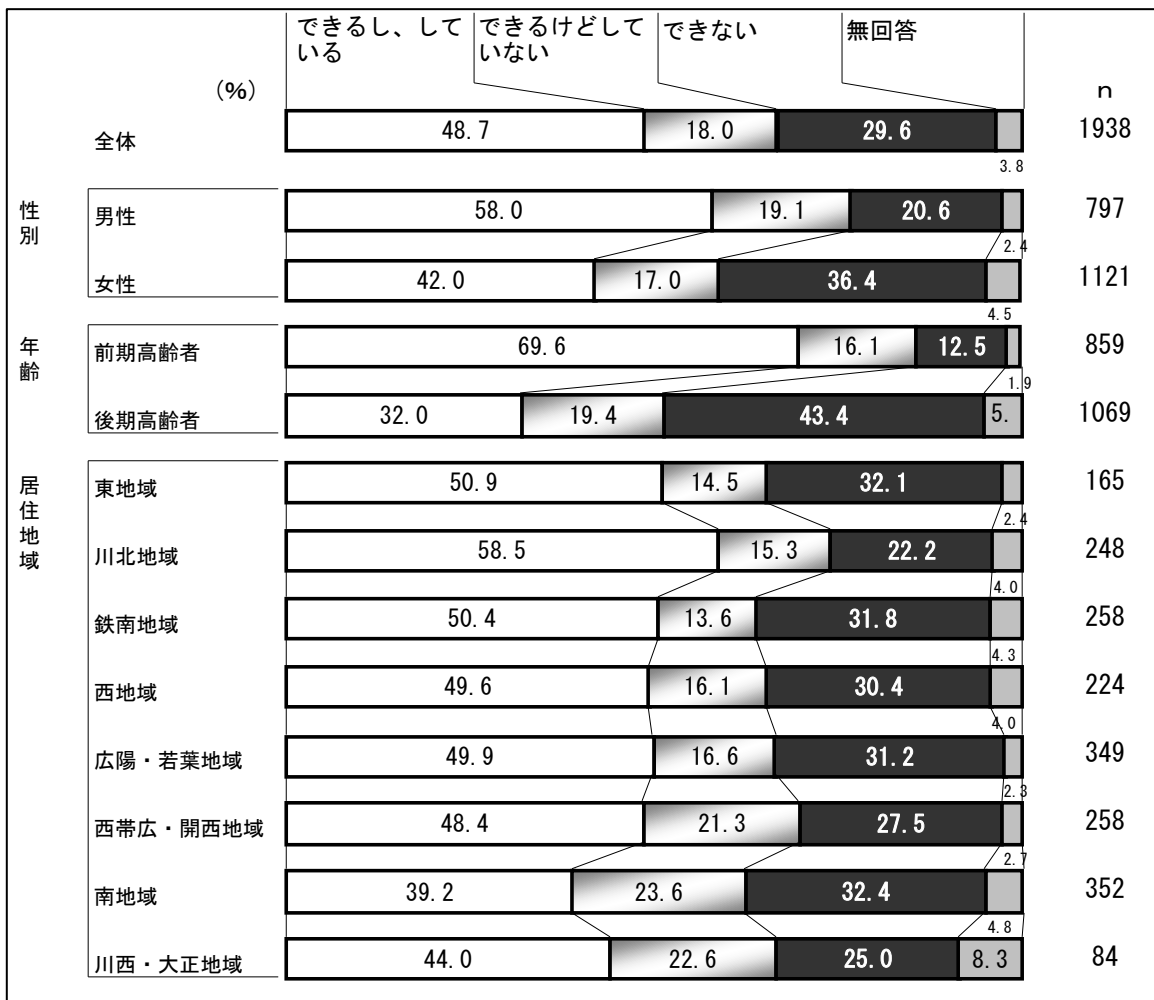
問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

「できるし、している」(48.7%)、「できない」(29.6%)、「できるけどしていない」(18.0%)。

性別では、男性よりも女性の方が「できない」の割合が高い。

また、年齢では、後期高齢者では「できない」の割合が、前期高齢者よりも30.9ポイント高くなる(およそ3.5倍)。

■ 図表 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る ■

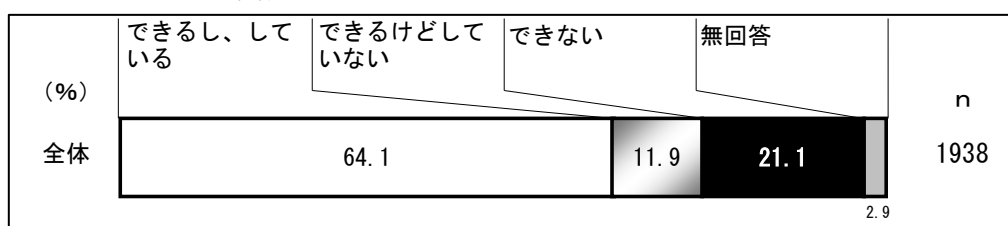


(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる

問 10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

「できるし、している」(64.1%)、「できない」(21.1%)、「できるけどしていない」(11.9%)。

■図表 椅子から何もつかまらずに立ち上がる■

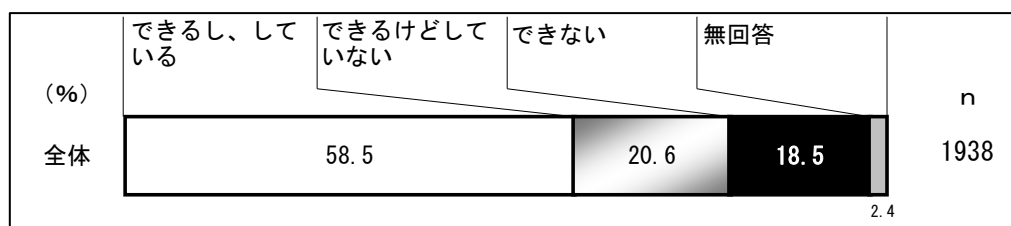


(3) 15分位続けて歩く

問 11 15分位続けて歩いていますか。

「できるし、している」(58.5%)、「できるけどしていない」(20.6%)、「できない」(18.5%)。

■図表 15分位続けて歩く■

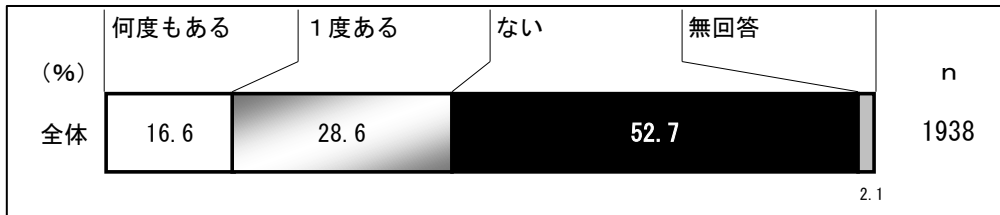


(4) 過去1年間の転倒経験

問 12 過去1年間に転んだ経験がありますか。

「1度ある」(28.6%)、「何度もある」(16.6%) が合わせて 45.2%。

■図表 過去1年間の転倒経験■

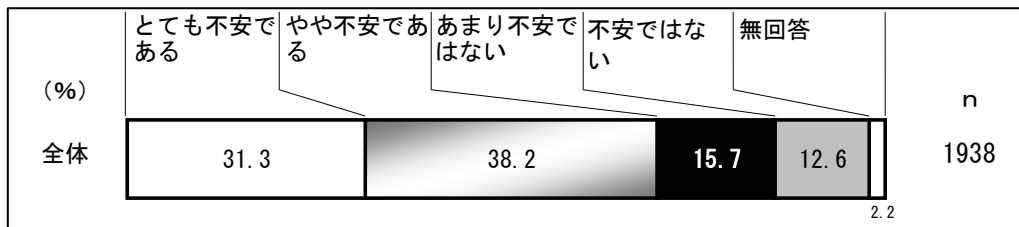


(5) 転倒に対する不安

問 13 転倒に対する不安は大きいですか。

「とても不安である」(31.3%)、「やや不安である」(38.2%) が、合わせて 69.5%。
「不安ではない」(12.6%)、「あまり不安ではない」(15.7%) は、合わせて 28.3%。

■図表 転倒に対する不安■



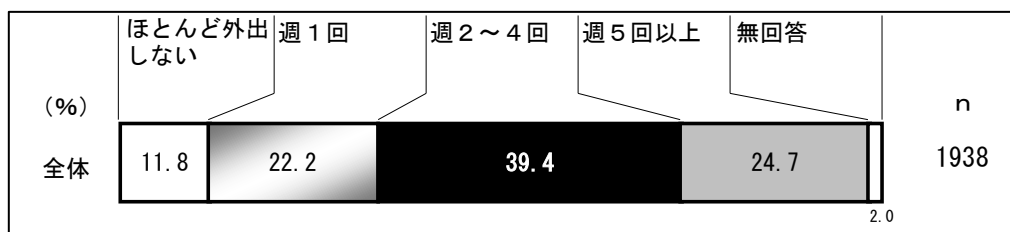
(6) 外出の頻度

問 14 どのくらいの頻度で外出していますか。



「週2～4回」(39.4%)、「週5回以上」(24.7%)、「週1回」(22.2%)、「ほとんど外出しない」(11.8%)。

■図表 外出の頻度■

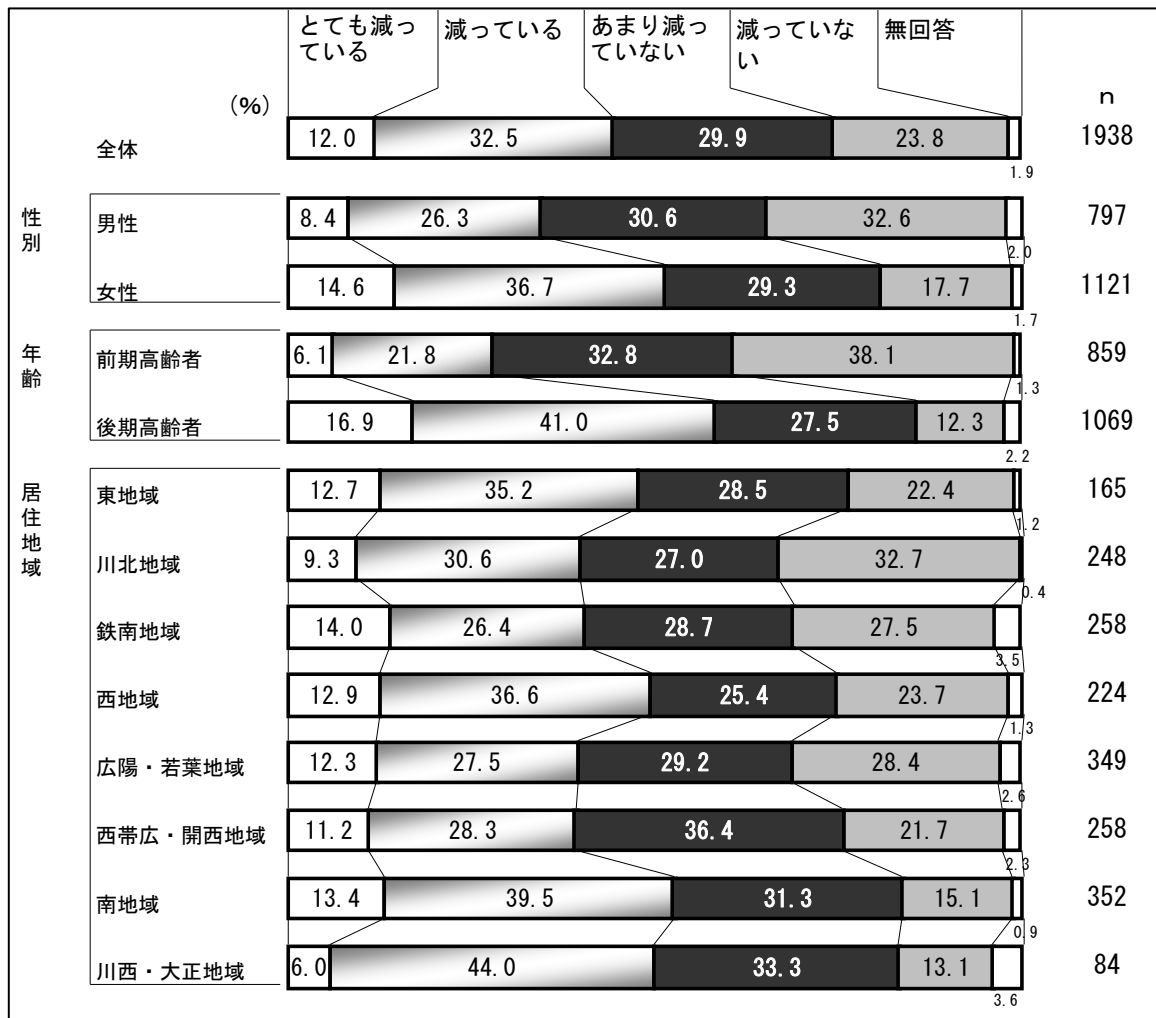


(7) 昨年と比べて外出の回数が減っている

問 15 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

「とても減っている」(12.0%)、「減っている」(32.5%)が、合わせて44.5%。
 性別では、男性よりも女性の方が「とても減っている」「減っている」の割合が高い。
 また、年齢では、後期高齢者では「とても減っている」、「減っている」の割合が、前期高齢者よりも30ポイント高くなる(およそ2倍)。

■ 図表 昨年と比べて外出の回数が減っている ■

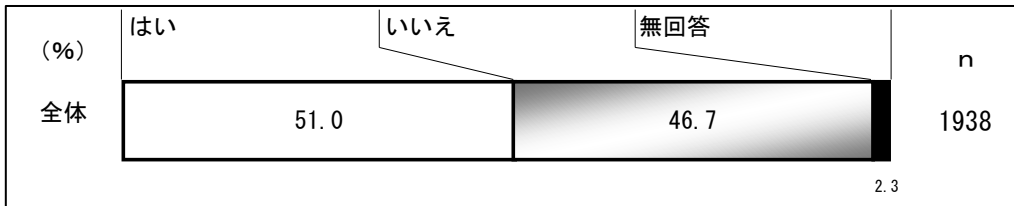


(8) 外出を控えている

問 16 外出を控えていますか。

51.0%が「はい」と回答。

■図表 外出を控えている■



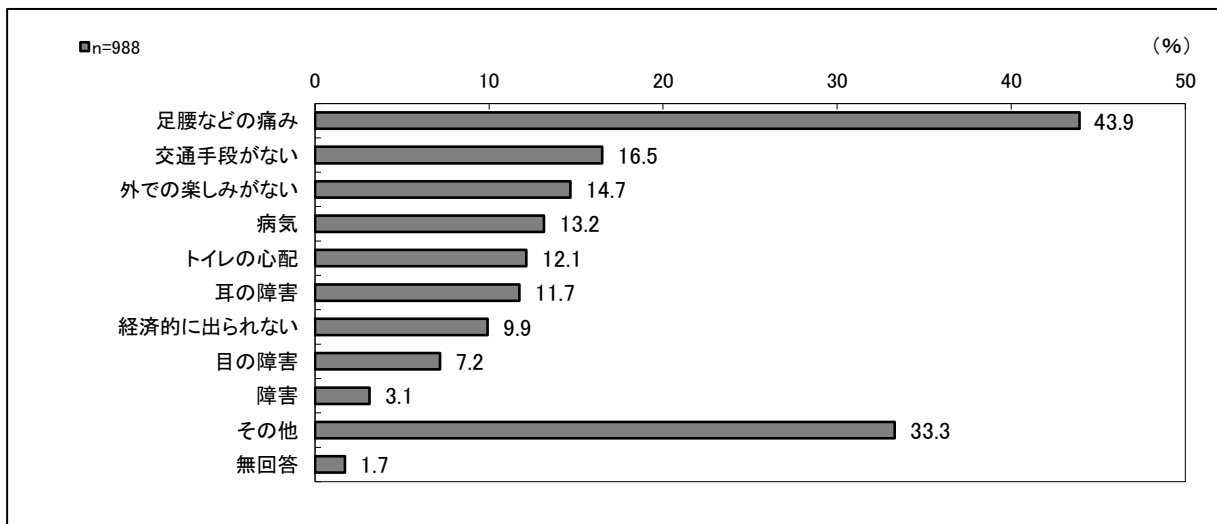
(9) 外出を控えている理由

※ 問 16 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

問 16-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

「足腰などの痛み」(43.9%) が他を大きく引き離して第1位。
「交通手段がない」(16.5%)、「外での楽しみがない」(14.7%)、「病気」(13.2%)、「トイレの心配」(12.1%)、「耳の障害」(11.7%) 等がこれに続く。

■図表 外出を控えている理由■



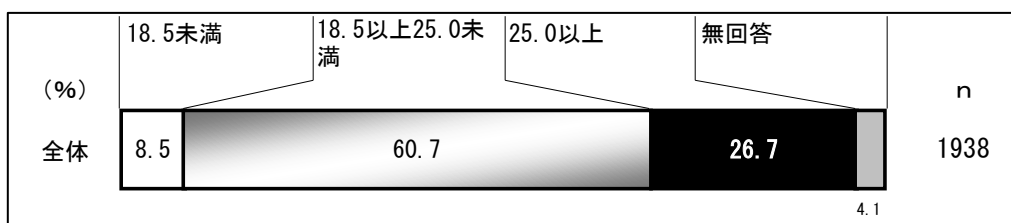
4. 食べることについて

(1) BMI

問 18 あなたの身長・体重を教えてください。

「18.5 以上 25.0 未満」(60.7%)、「25.0 以上」(26.7%)、「18.5 未満」(8.5%)。

■図表 BMI■

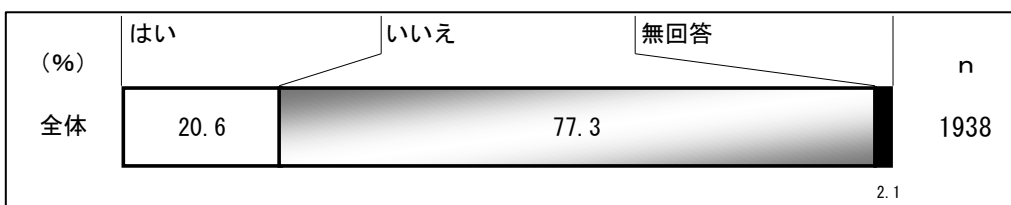


(2) 半年間で2～3 kg以上の体重減少

問 19 半年間で2～3 kg以上の体重減少がありましたか。

「いいえ」(77.3%)、「はい」(20.6%)。

■図表 半年間で2～3 kg以上の体重減少■

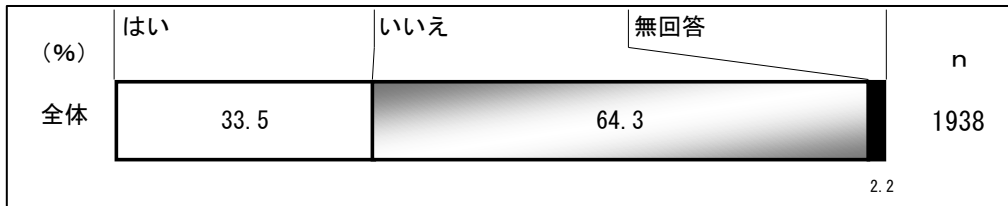


(3) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった

問 20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

「いいえ」(64.3%)、「はい」(33.5%)。

■図表 半年前と比べて固いものが食べにくくなった■



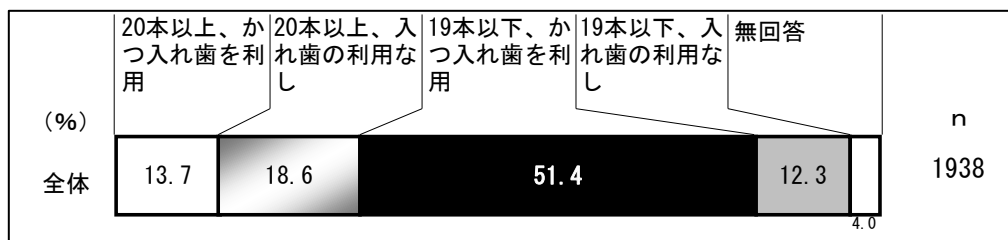
(4) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 21 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。

- 「19本以下、かつ入れ歯を利用」(51.4%)
- 「20本以上、入れ歯の利用なし」(18.6%)
- 「20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.7%)
- 「19本以下、入れ歯の利用なし」(12.3%)

の順。

■図表 歯の数と入れ歯の利用状況■



(5) 誰かと食事をとる機会

問 22 どなたかと食事をとる機会がありますか。



「毎日ある」(44.7%)、「月に何度かある」(15.6%)、「年に何度かある」(15.2%)、「ほとんどない」(14.9%)、「週に何度かある」(6.1%)。

■図表 誰かと食事をとる機会■

	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	n
(%) 全体	44.7	6.1	15.6	15.2	14.9	3.5	1938

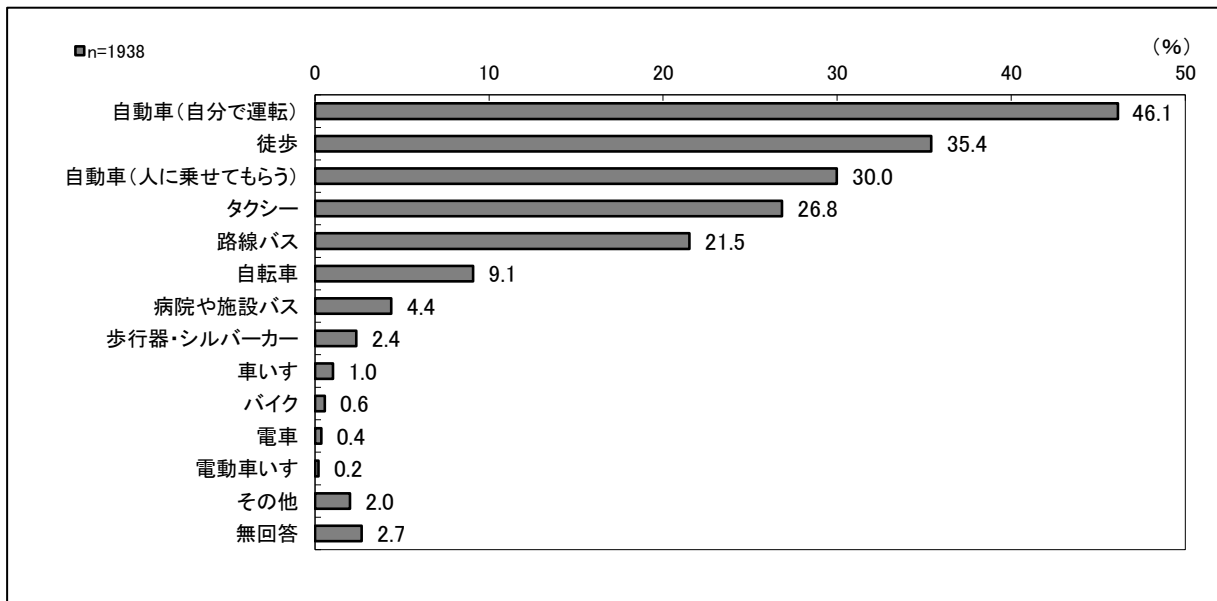
(10) 外出する際の移動手段

問 17 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】



「自動車（自分で運転）」（46.1%）が第1位。
「徒歩」（35.4%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（30.0%）、「タクシー」（26.8%）、
「路線バス」（21.5%）等がこれに続く。

■図表 外出する際の移動手段■



5. 毎日の生活について

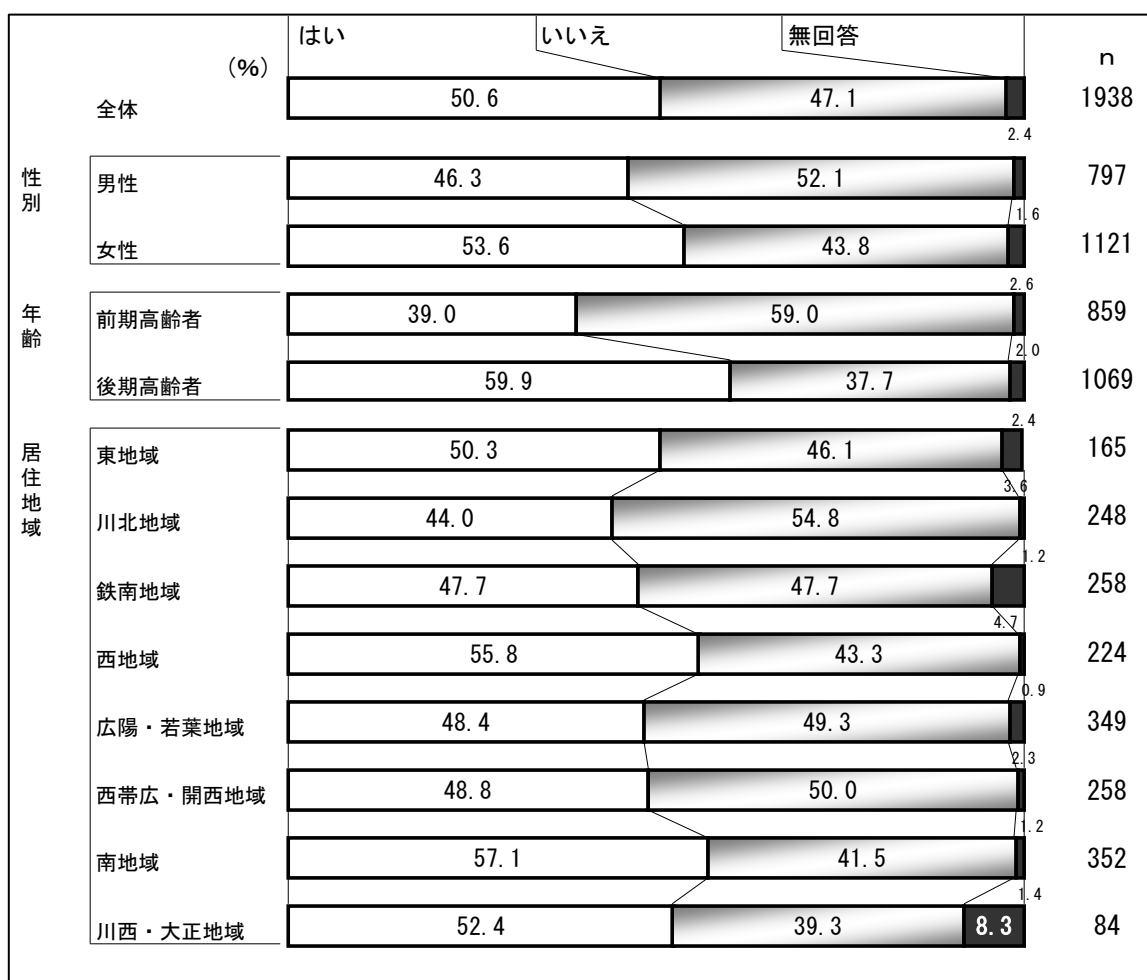
(1) 物忘れが多いと感じる

問 23 物忘れが多いと感じますか。

50.6%が「はい」と回答。

性別では女性が、年齢では後期高齢者が「はい」の割合が高い。

■図表 物忘れが多いと感じる■

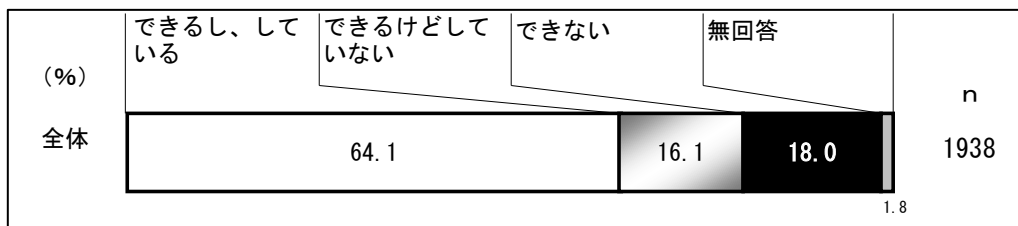


(2) バスや電車を使って1人で外出している

問 24 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

「できるし、している」(64.1%)、「できない」(18.0%)、「できるけどしていない」(16.1%)。

■図表 バスや電車を使って1人で外出している■

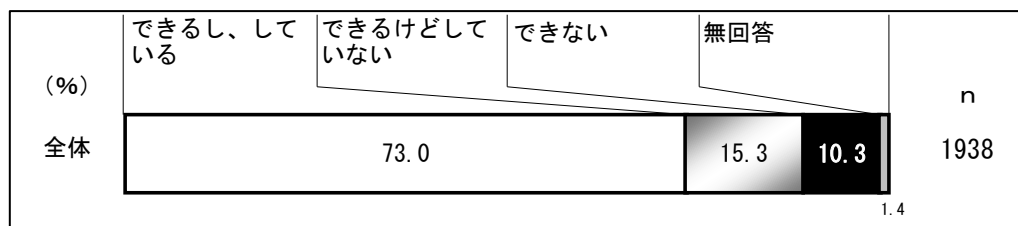


(3) 自分で食品・日用品の買い物をしている

問 25 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

「できるし、している」(73.0%)、「できるけどしていない」(15.3%)、「できない」(10.3%)。

■図表 自分で食品・日用品の買い物をしている■

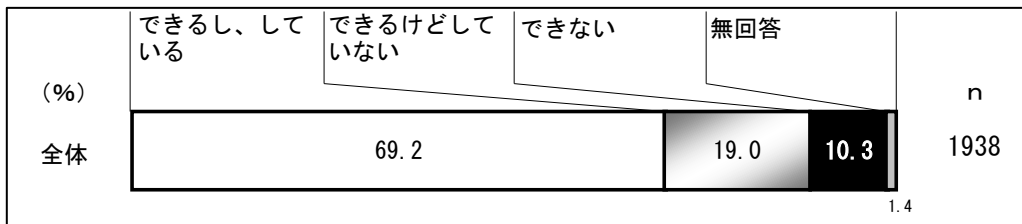


(4) 自分で食事の用意をしている

問 26 自分で食事の用意をしていますか。

「できるし、している」(69.2%)、「できるけどしていない」(19.0%)、「できない」(10.3%)。

■図表 自分で食事の用意をしている■

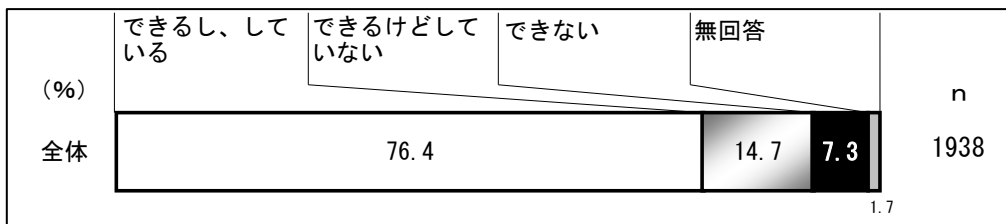


(5) 自分で請求書の支払いをしている

問 27 自分で請求書の支払いをしていますか。

「できるし、している」(76.4%)、「できるけどしていない」(14.7%)、「できない」(7.3%)。

■図表 自分で請求書の支払いをしている■

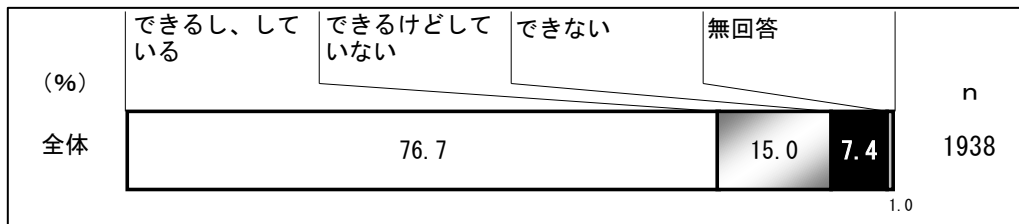


(6) 自分で預貯金の出し入れをしている

問 28 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

「できるし、している」(76.7%)、「できるけどしていない」(15.0%)、「できない」(7.4%)。

■図表 自分で預貯金の出し入れをしている■

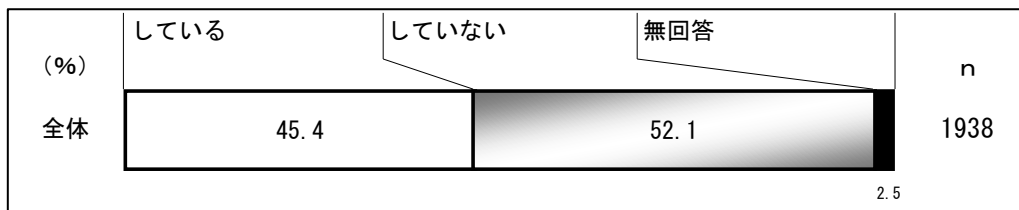


(7) スマートフォン（アプリやSNSなど）を利用している

問 29 スマートフォン（アプリやSNSなど）を利用していますか。

45.4%が「している」と回答。

■図表 スマートフォン（アプリやSNSなど）を利用している■



6. 地域での活動について

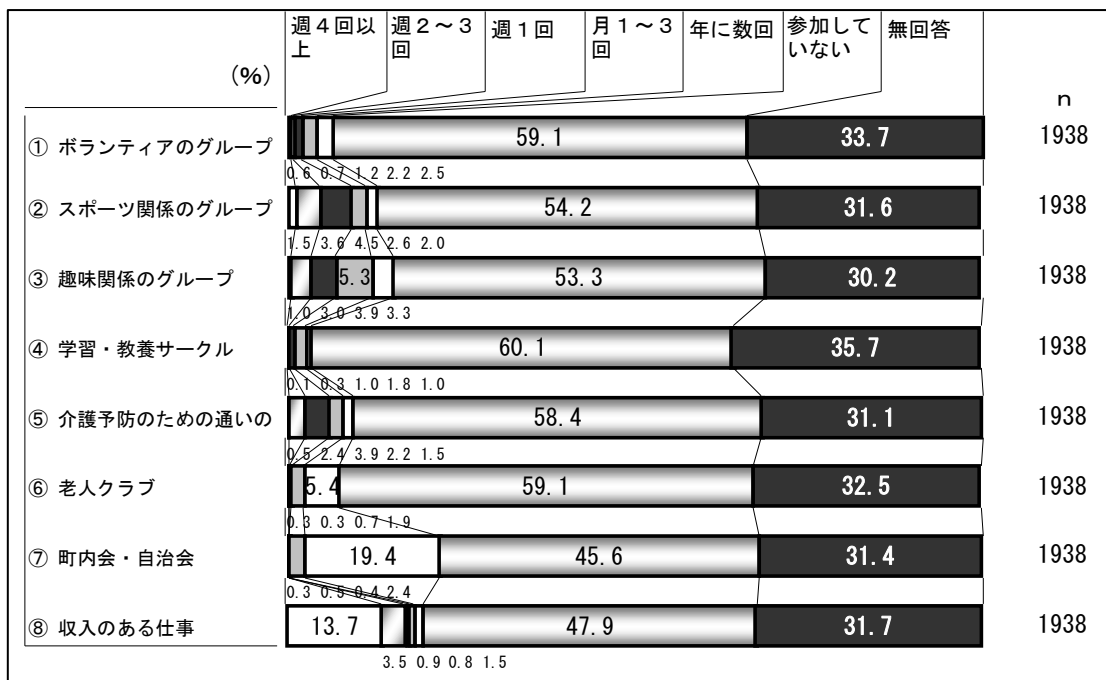
(1) 会やグループ等への参加状況

問 30 以下のような会やグループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

- ①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、
 ③趣味関係のグループ、④学習・教養サークル、⑤地域交流サロン、認知症カフェ、茶
 話会、体操等のサークルなど（介護予防のための通いの場）、⑥老人クラブ、
 ⑦町内会・自治会、⑧収入のある仕事

『⑦町内会・自治会』、『⑧収入のある仕事』を除くすべての会やグループで、「参加し
 ていない」が過半数を超える。

■集計表 会やグループ等への参加状況■

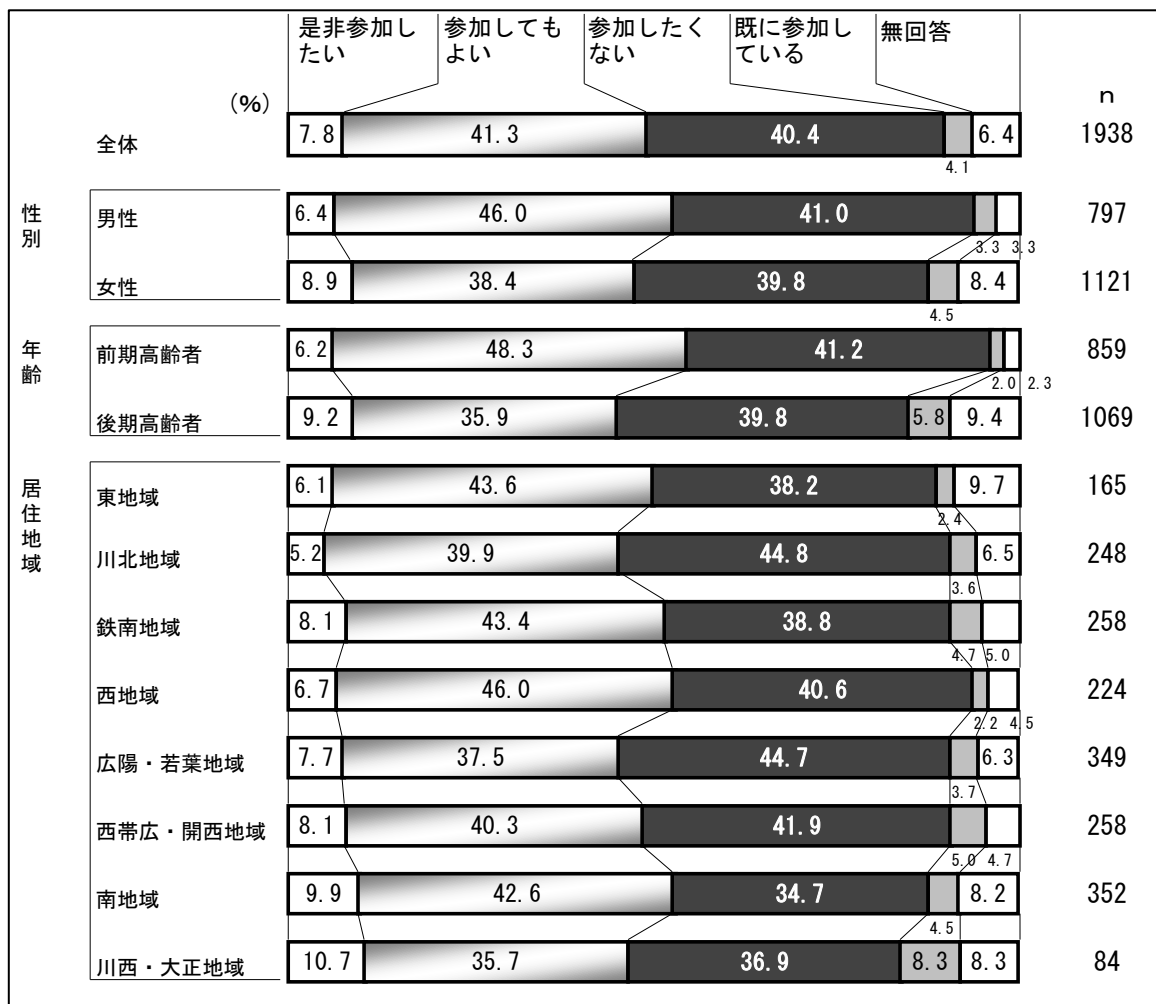


(2) 地域活動への参加者としての参加意向

問 31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

「是非参加したい」(7.8%)、「参加してもよい」(41.3%) が、合わせて 49.1%。
 「参加したくない」は 40.4%。
 性別では、男性の方が女性よりも参加意向がやや強い。

■ 図表 地域活動への参加者としての参加意向 ■

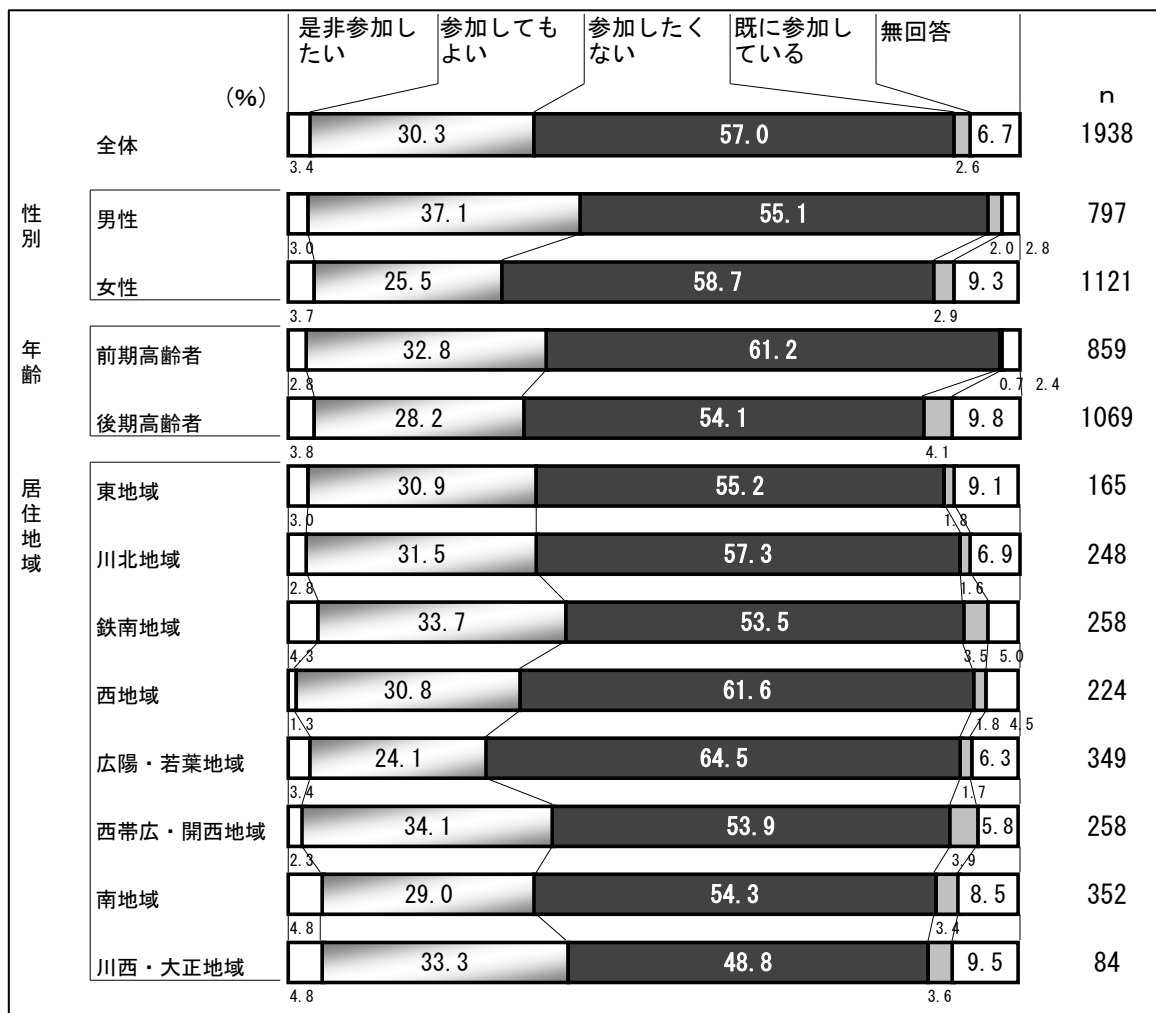


(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

問 32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

「是非参加したい」（3.4%）、「参加してもよい」（30.3%）が、合わせて33.7%。
 「参加したくない」は57.0%。
 性別では、男性の方が女性よりも参加意向がやや強い。

■図表 地域活動への企画・運営としての参加意向■



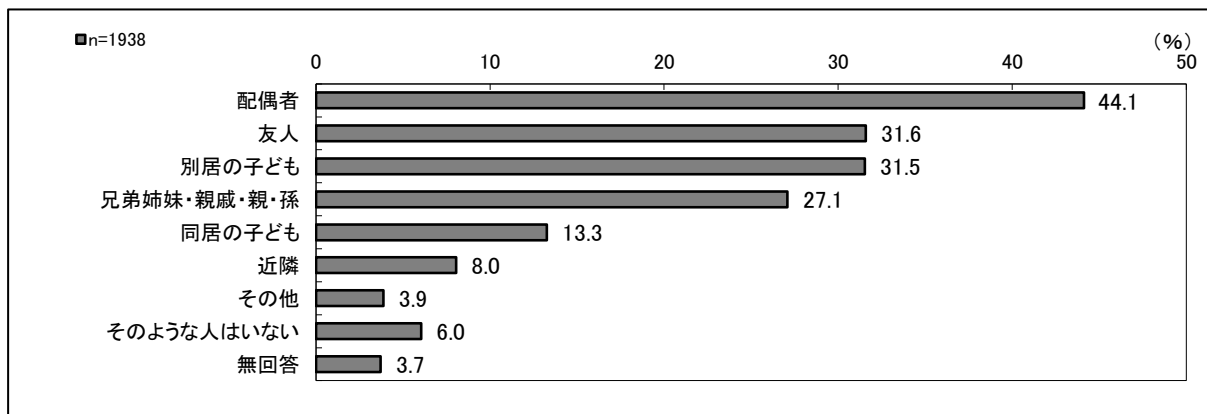
7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問 33 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」(44.1%) が第1位。
「友人」(31.6%)、「別居の子ども」(31.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(27.1%)、
「同居の子ども」(13.3%)、「近隣」(8.0%) がこれに続く。
「そのような人はいない」は6.0%

■ 図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人 ■



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

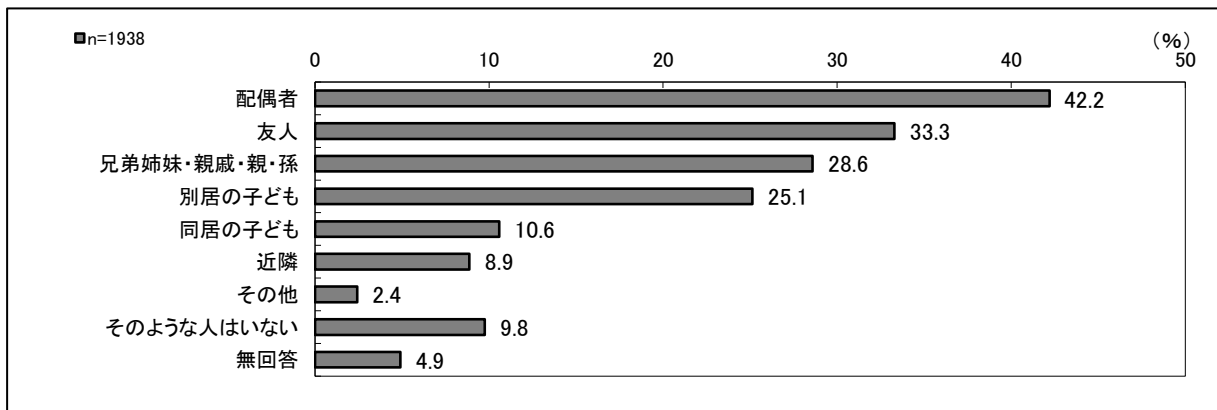
問 34 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。

【複数回答】



「配偶者」(42.2%) が第1位。
「友人」(33.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.6%)、「別居の子ども」(25.1%)、
「同居の子ども」(10.6%)、「近隣」(8.9%) がこれに続く。
「そのような人はいない」は9.8%。

■ 図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人 ■



(3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人

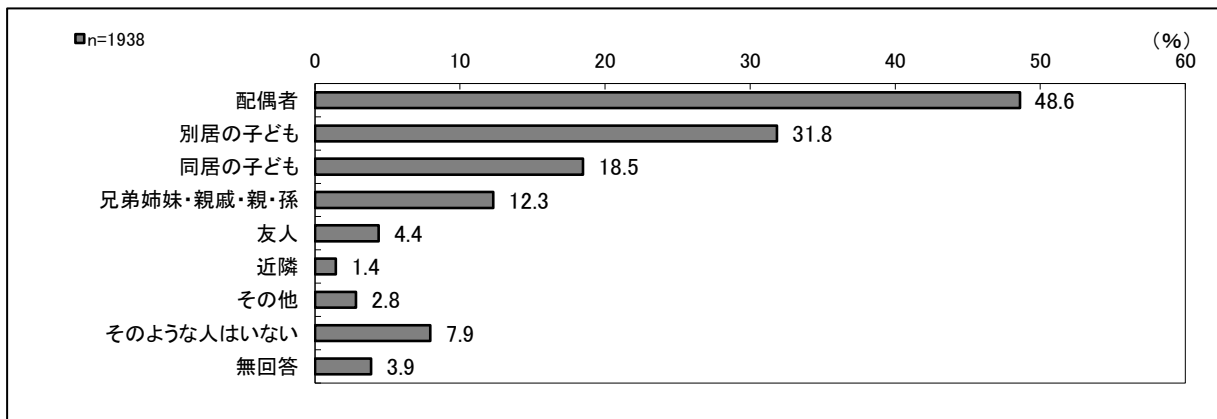
問 35 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。

【複数回答】



「配偶者」(48.6%) が第1位。
「別居の子ども」(31.8%)、「同居の子ども」(18.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(12.3%)、「友人」(4.4%)、「近隣」(1.4%) がこれに続く。
「そのような人はいない」は7.9%

■ 図表 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人 ■



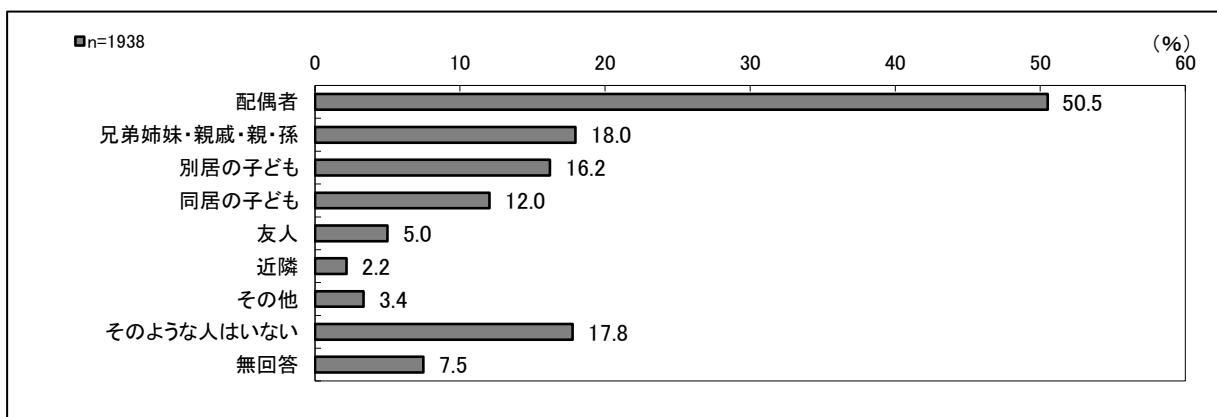
(4) 看病や世話をしている人

問 36 反対に、看病や世話をしている人は誰ですか。【複数回答】



「配偶者」(50.5%) が他を大きく引き離して第1位。
「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.0%)、「別居の子ども」(16.2%)、「同居の子ども」(12.0%)、「友人」(5.0%)、「近隣」(2.2%) がこれに続く。
「そのような人はいない」は17.8%にのぼる。

■ 図表 看病や世話をしている人 ■



(5) 家族や友人、知人以外の相談相手

問 37 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください。

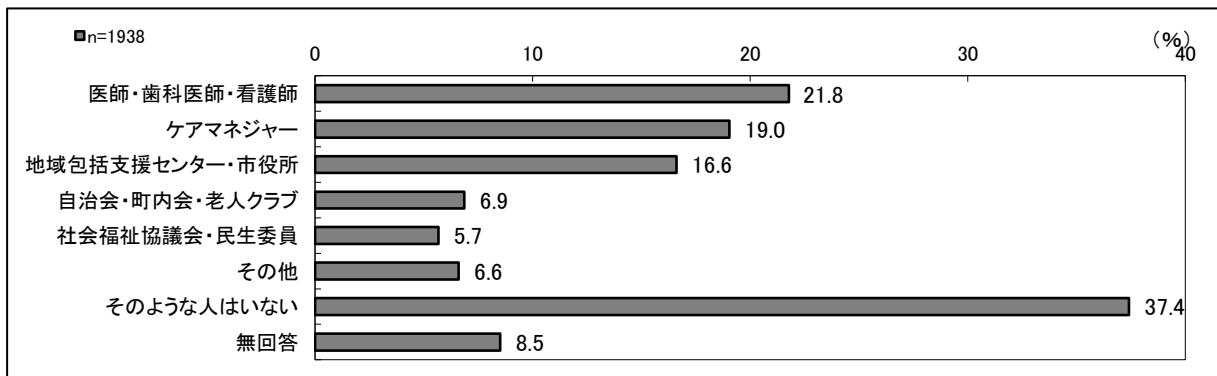
【複数回答】



「医師・歯科医師・看護師」(21.8%)、「ケアマネジャー」(19.0%)、「地域包括支援センター・市役所」(16.6%)、「自治会・町内会・老人クラブ」(6.9%)、「社会福祉協議会・民生委員」(5.7%)の順。

37.4%が「そのような人はいない」と回答。

■ 図表 家族や友人、知人以外の相談相手 ■

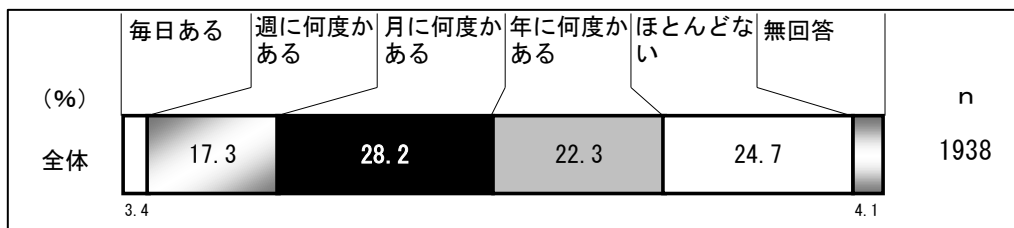


(6) 友人・知人と会う頻度

問 38 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

「月に何度かある」(28.2%)、「ほとんどない」(24.7%)、「年に何度かある」(22.3%)、「週に何度かある」(17.3%)、「毎日ある」(3.4%)。

■図表 友人・知人と会う頻度■



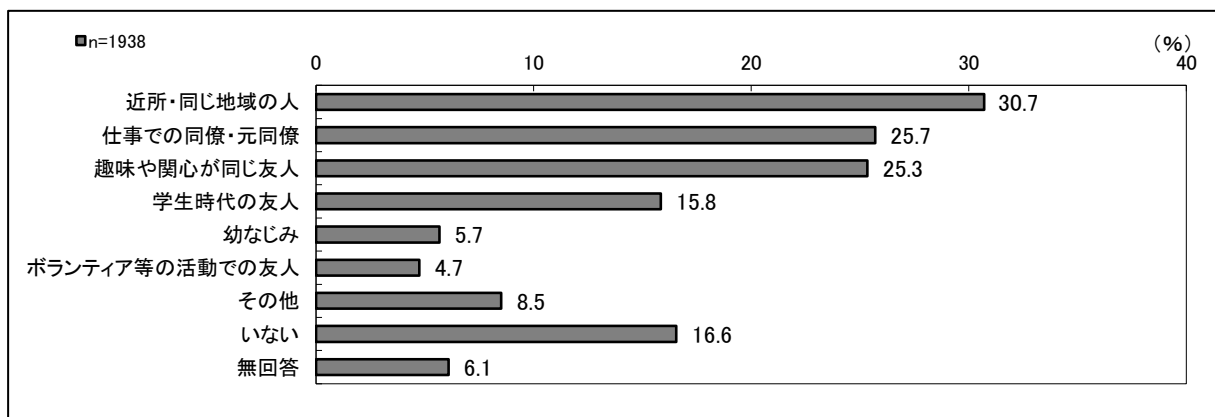
(7) よく会う友人・知人との関係

問 39 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

「近所・同じ地域の人」(30.7%)、「仕事での同僚・元同僚」(25.7%)、「趣味や関心が同じ友人」(25.3%)、「学生時代の友人」(15.8%)、「幼なじみ」(5.7%)、「ボランティア等の活動での友人」(4.7%)。

16.6%が「いない」と回答。

■図表 よく会う友人・知人との関係■

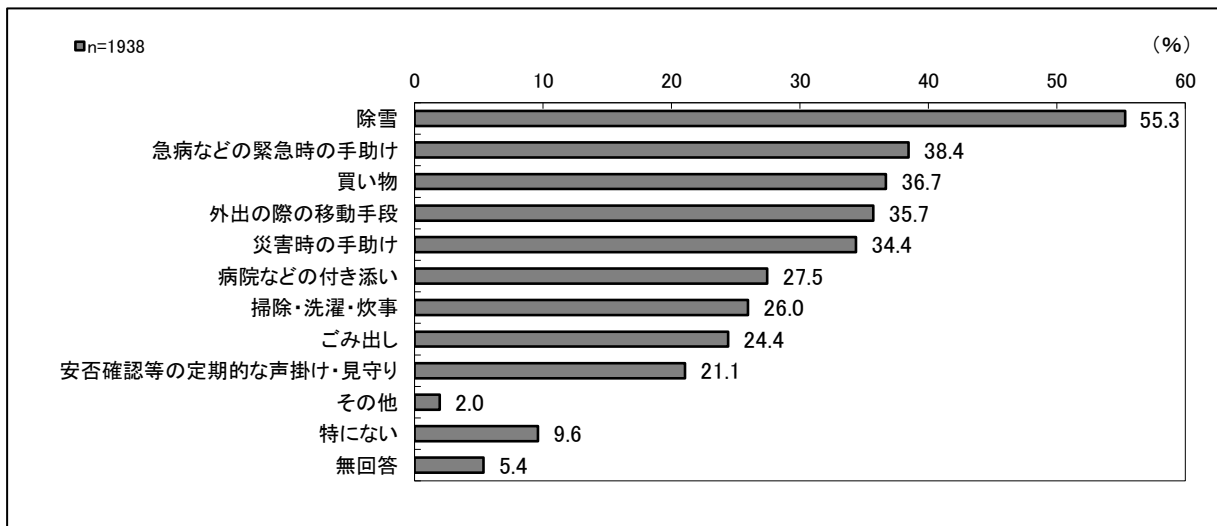


(8) 支援が必要になったとき、望む支援

問 40 あなたが日常生活上で支援が必要になった時、周囲の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。【複数回答】

「除雪」(55.3%)が第1位。
「急病などの緊急時の手助け」(38.4%)、「買い物」(36.7%)、「外出の際の移動手段」(35.7%)、「災害時の手助け」(34.4%)、「病院などの付き添い」(27.5%)等がこれに続く。

■図表 支援が必要になったとき、望む支援■

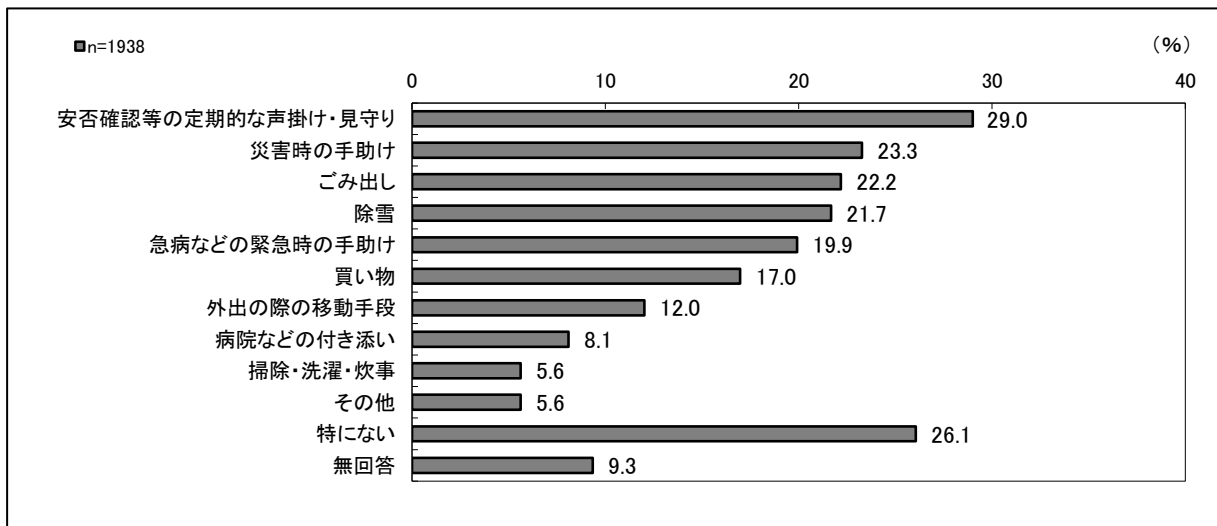


(9) 自らが周囲に出来る支援

問 41 となり近所に高齢や病気等で困っている家庭があった場合、あなたはどのような支援ができますか。【複数回答】

「安否確認等の定期的な声掛け・見守り」(29.0%)が第1位。
 「災害時の手助け」(23.3%)、「ごみ出し」(22.2%)、「除雪」(21.7%)、「急病などの緊急時の手助け」(19.9%)等がこれに続く。
 26.1%が「特にない」と回答。

■ 図表 自らが周囲に出来る支援 ■

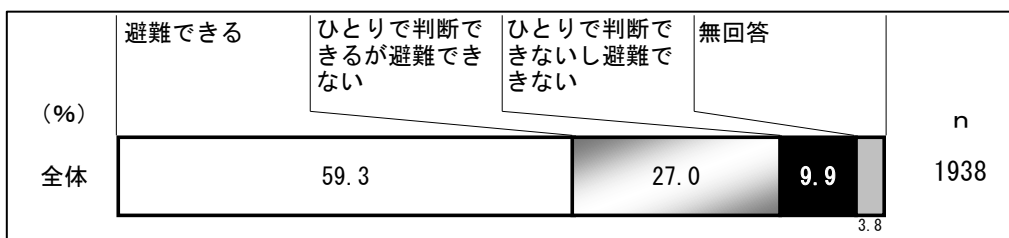


(10) 緊急時にひとりで避難することができる

問 42 あなたは災害時(台風や地震など)や火災などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。

「ひとりで判断できるが避難できない」(27.0%)、「ひとりで判断できないし避難できない」(9.9%)が、合わせて36.9%。

■ 図表 緊急時にひとりで避難することができる ■



(11) ひとりで避難できない理由

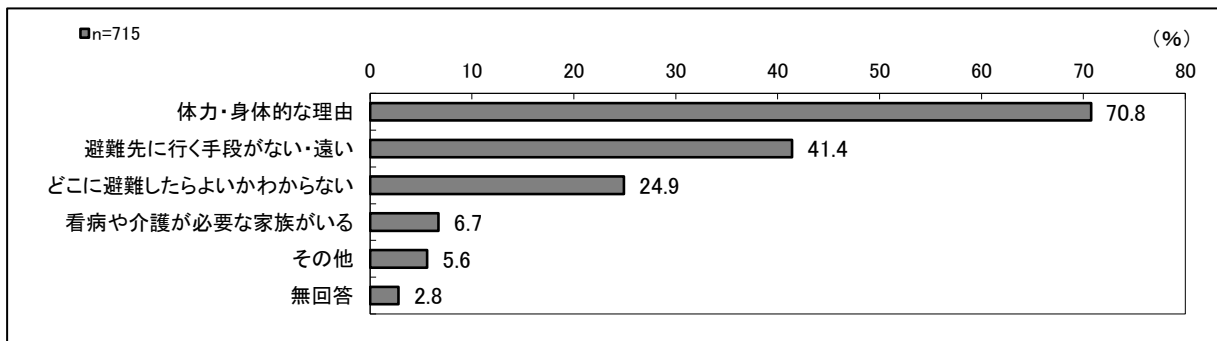
※ 問 42 で「2. ひとりで判断できるが、避難はできない」「3. ひとりで判断できないし、避難できない」と回答した方にお聞きします。

問 42-1 その理由は何ですか。【複数回答】



「体力・身体的な理由」(70.8%) が他を大きく引き離して第 1 位。
「避難先に行く手段がない・遠い」(41.4%)、「どこに避難したらよいかわからない」(24.9%)、「看病や介護が必要な家族がいる」(6.7%) がこれに続く。

■ 図表 ひとりで避難できない理由 ■



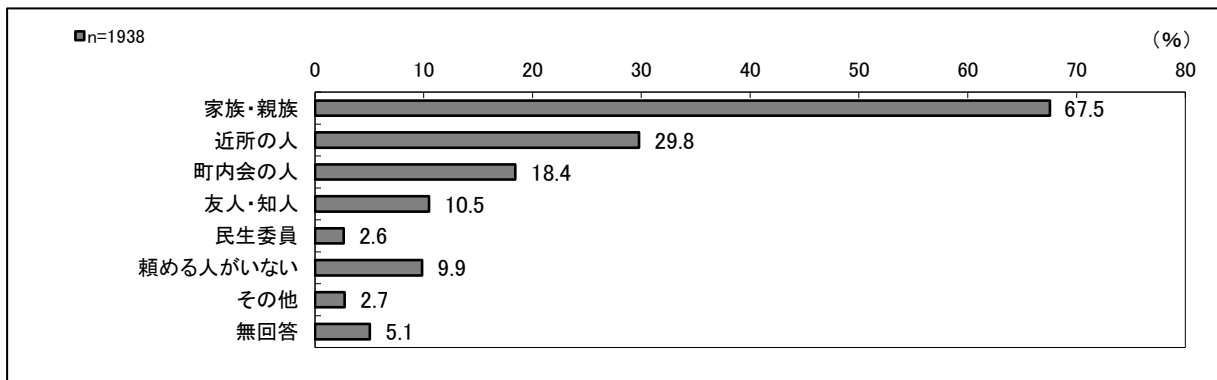
(12) 緊急時に手助けを頼める人

問 43 災害時や火災などの緊急時に避難する際、手助けを頼める人はいますか。

【複数回答】

「家族・親族」(67.5%) が他を大きく引き離して第1位。
 「近所の人」(29.8%)、「町内会の人」(18.4%)、「友人・知人」(10.5%)、「頼める人がいない」(9.9%)、「民生委員」(2.6%)。
 9.9%が「頼める人がいない」と回答。

■図表 緊急時に手助けを頼める人■

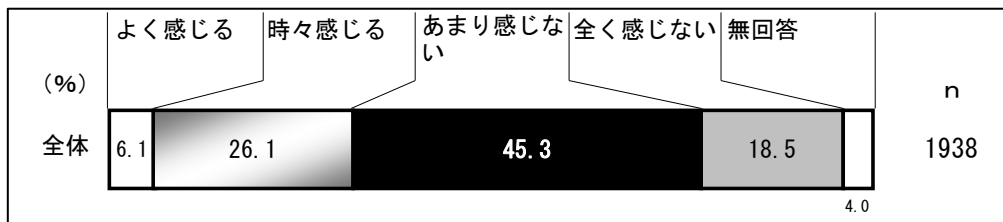


(13) 孤立・孤独を感じること

問 44 あなたは日常において孤立・孤独を感じることはありませんか。

「よく感じる」(6.1%)、「時々感じる」(26.1%) が、合わせて 32.2%。
 「全く感じない」(18.5%)、「あまり感じない」(45.3%) は、合わせて 63.8%。

■図表 孤立・孤独を感じること■



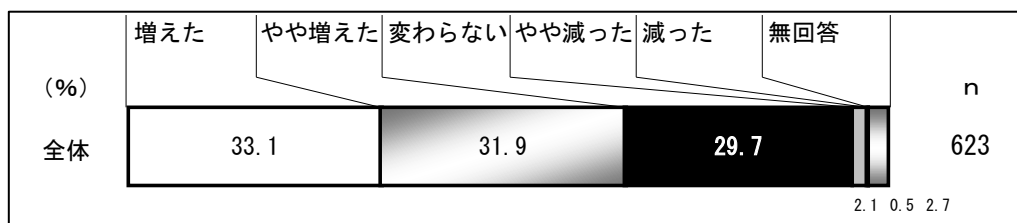
(14) コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じるが増えた

※ 問 44 で「1. よく感じる」「2. 時々感じる」と回答した方にお聞きします。
問 44-1 新型コロナウイルス流行前と比較して、孤立・孤独を感じるが増えましたか。



「増えた」(33.1%)、「やや増えた」(31.9%) が、合わせて 65.0%。

■図表 コロナ禍前と比べて、孤立・孤独を感じるが増えた■



(15) コロナ禍による日常生活への変化

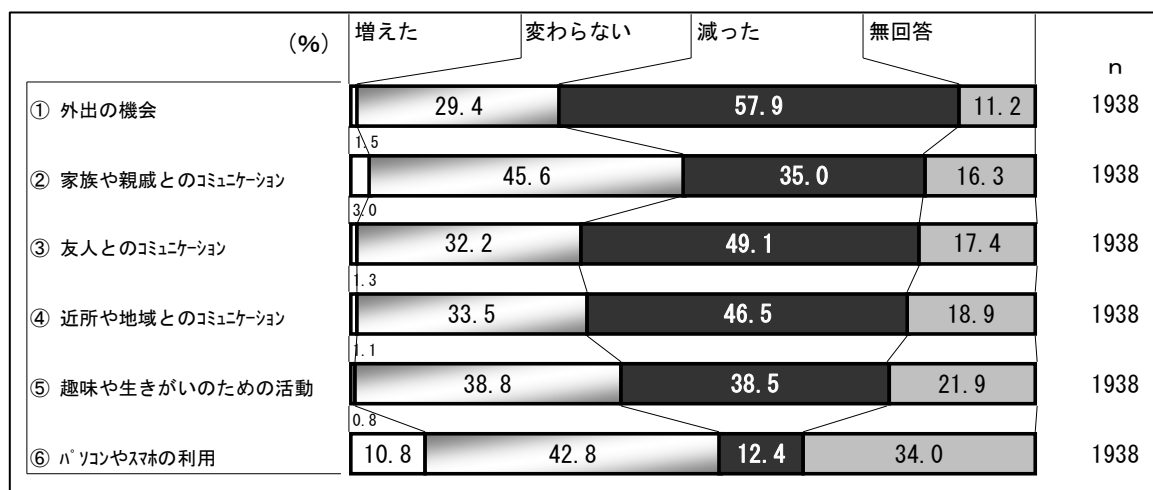
問 45 新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活にどのような変化がありましたか。

①外出の機会、②家族や親戚とのコミュニケーション、③友人とのコミュニケーション、④近所や地域とのコミュニケーション、⑤趣味や生きがいのための活動、⑥パソコンやスマートフォンの利用（インターネットやSNSなど）



ほとんどの項目で、「減った」に回答が集まる。
『⑥パソコンやスマートフォンの利用（インターネットやSNS）』については、10.8%が「増えた」と回答。

■図表 コロナ禍による日常生活への変化■



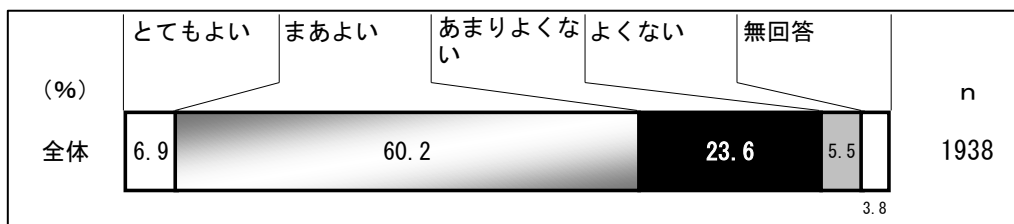
8. 健康について

(1) 現在の健康状態

問 46 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「とてもよい」(6.9%)、「まあよい」(60.2%)が、合わせて67.1%。
「よくない」(5.5%)、「あまりよくない」(23.6%)は、合わせて29.1%。

■図表 現在の健康状態■

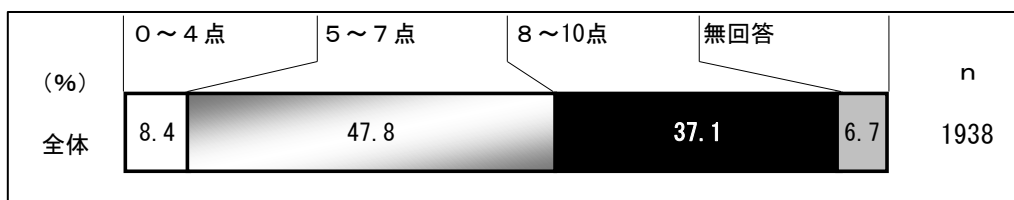


(2) 現在の幸せの程度

問 47 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてあてはまる点数に“○”をつけてください。

「5～7点」(47.8%)、「8～10点」(37.1%)、「0～4点」(8.4%)。

■図表 現在の幸せの程度■

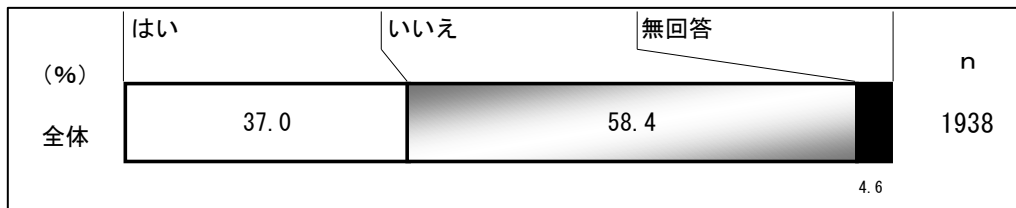


(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる

問 48 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

37.0%が「はい」と回答。

■図表 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる■

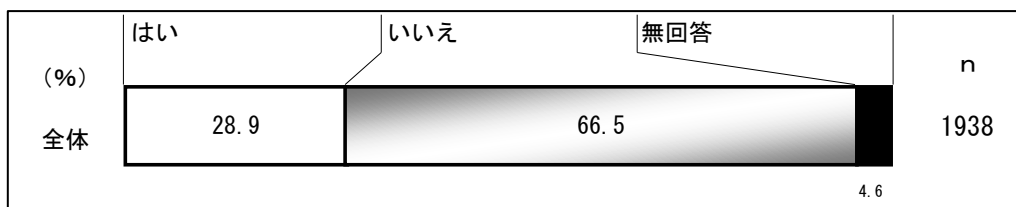


(4) 物事に対して興味がわかない、心から楽しめない

問 49 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

28.9%が「はい」と回答。

■図表 物事に対して興味がわかない、心から楽しめない■

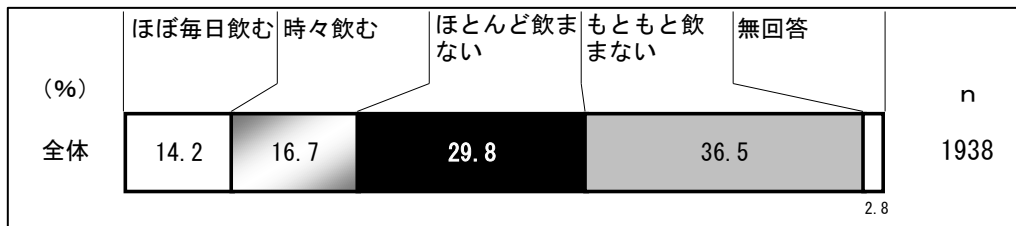


(5) 飲酒習慣の有無

問 50 お酒は飲みますか。

「もともと飲まない」(36.5%)、「ほとんど飲まない」(29.8%)、「時々飲む」(16.7%)、「ほぼ毎日飲む」(14.2%)。

■図表 飲酒習慣の有無■

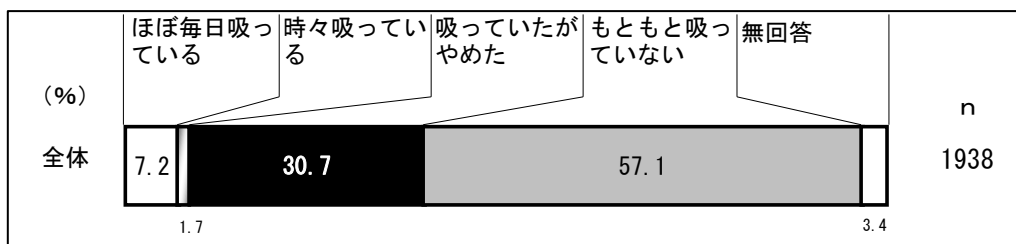


(6) 喫煙習慣の有無

問 51 タバコは吸っていますか。

「もともと吸っていない」(57.1%)、「吸っていたがやめた」(30.7%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.2%)、「時々吸っている」(1.7%)。

■図表 喫煙習慣の有無■

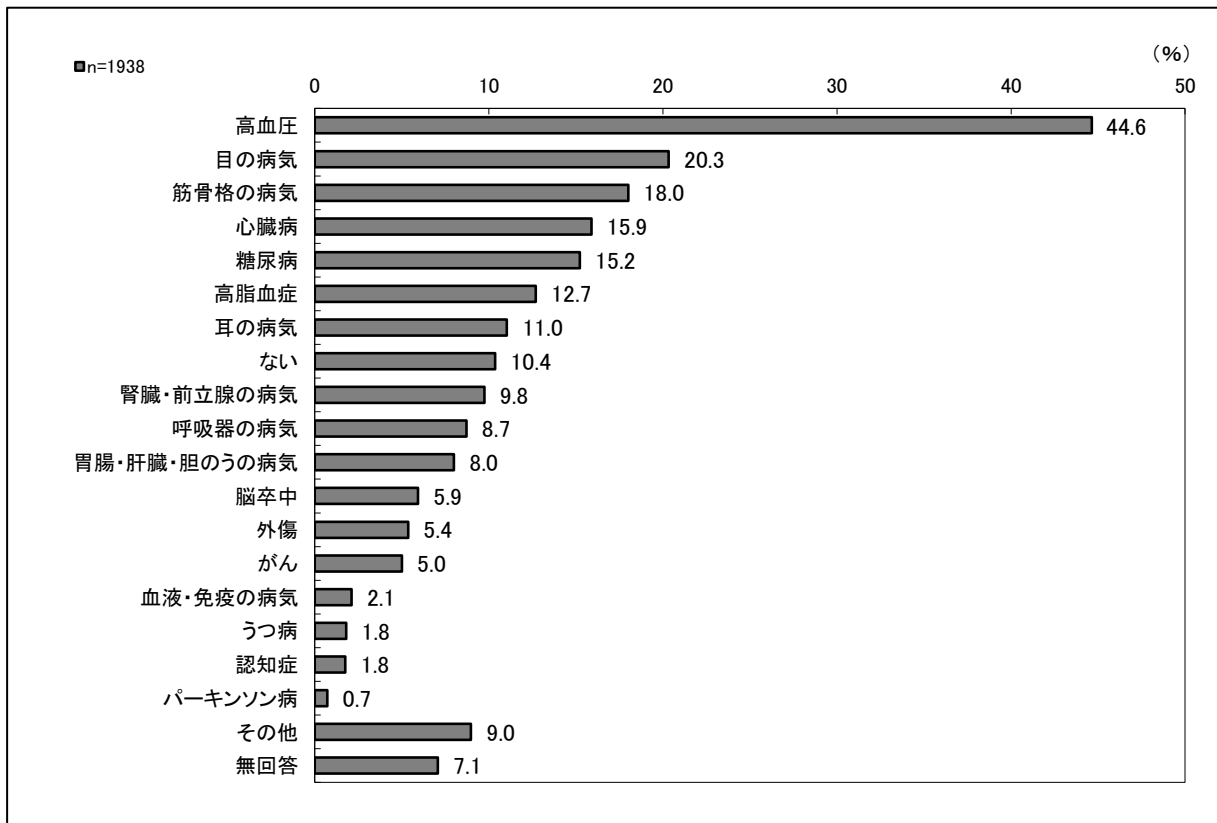


(7) 現在治療中または後遺症のある病気

問 52 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

「高血圧」(44.6%) が他を大きく引き離して第1位。
「目の病気」(20.3%)、「筋骨格の病気」(18.0%)、「心臓病」(15.9%)、「糖尿病」(15.2%)、「高脂血症」(12.7%) 等がこれに続く。

■ 図表 現在治療中または後遺症のある病気 ■

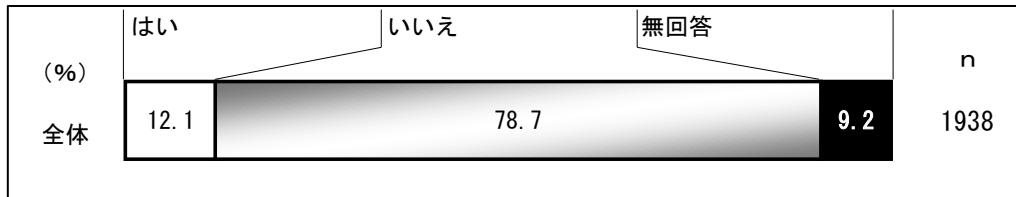


(8) 認知症の症状があるまたは家族に症状がある

問 53 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

「いいえ」(78.7%)、「はい」(12.1%)。

■図表 認知症の症状があるまたは家族に症状がある■

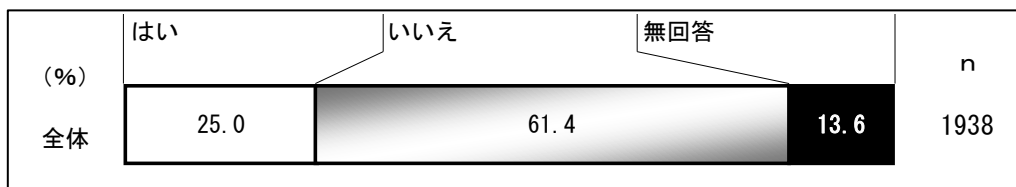


(9) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 54 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

61.4%が「いいえ」と回答。

■図表 認知症に関する相談窓口を知っているか■



9. かかりつけ医について

(1) かかりつけ医について

問 55 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けたりすることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいますか。

①医師、②歯科医師、③薬剤師

半数以上がかかりつけの『①医師』または『②歯科医師』がいると回答。
『③薬剤師』については、「いる」が34.6%にとどまる。

■図表 かかりつけ医について■

(%)	いる	いない	無回答	n
① かかりつけ医の有無	80.0	12.3	7.7	1938
② かかりつけ歯科医師の有無	55.4	20.9	23.7	1938
③ かかりつけ薬剤師の有無	34.6	36.8	28.6	1938

(2) 自宅で訪問診療を受けているか

問 56 あなたは、自宅で訪問診療（医師の訪問）を受けていますか。

92.1%が「受けていない」と回答。

■図表 自宅で訪問診療を受けているか■

(%)	受けている	受けていない	無回答	n
全体	1.4	92.1	6.5	1938

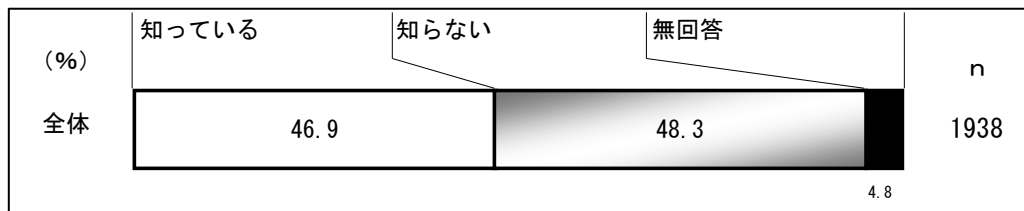
10. 保健福祉サービスなどについて

(1) 「地域包括支援センター」の認知

問 57 帯広市では高齢者と家族のための総合相談窓口である「地域包括支援センター」を開設しています。あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。

48.3%が「知らない」と回答。

■ 図表 「地域包括支援センター」の認知 ■

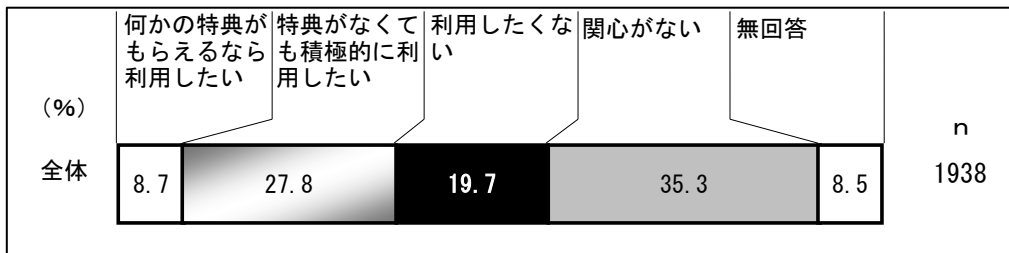


(2) 利用意向：健康づくりについての教室や相談等

問 58 健康増進や介護予防等のために、保健福祉センターなどで開催される健康づくりについての教室や相談などを今後利用したいと思いますか。

「関心がない」(35.3%)、「特典がなくても積極的に利用したい」(27.8%)、「利用したくない」(19.7%)、「何かの特典がもらえるなら利用したい」(8.7%)。

■図表 利用意向：健康づくりについての教室や相談等■

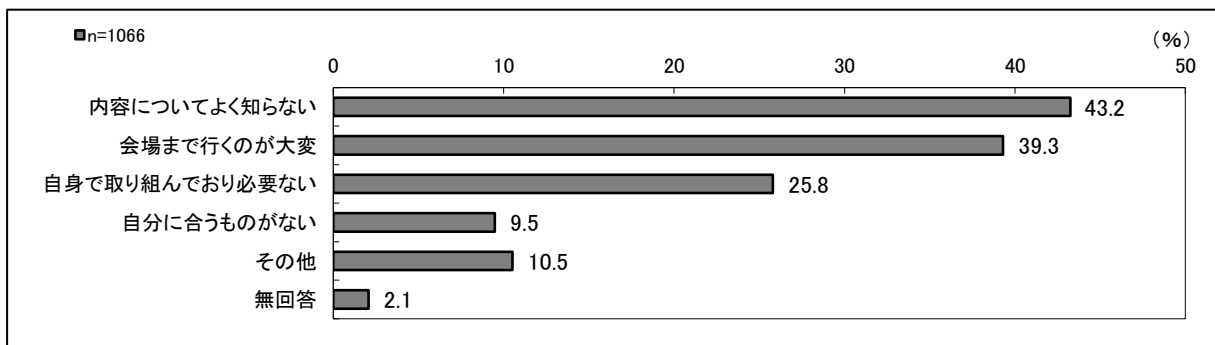


(3) 利用したくない理由：健康づくりについての教室や相談等

※ 問 58 で「3. 利用したくない」「4. 関心がない」と回答した方にお聞きします。
問 58-1 その理由は何ですか。

「内容についてよく知らない」(43.2%) が第 1 位。
「会場まで行くのが大変」(39.3%)、「自身で取り組んでおり必要ない」(25.8%)、「自分に合うものがない」(9.5%) がこれに続く。

■図表 利用したくない理由：健康づくりについての教室や相談等■

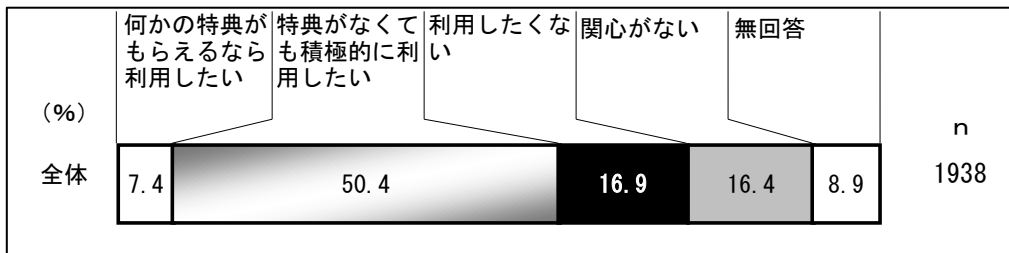


(4) 利用意向：特定健診やがん検診

問 59 健康増進や介護予防等のために、特定健診やがん検診を今後利用したいと思いますか。

「特典がなくても積極的に利用したい」(50.4%)、「利用したくない」(16.9%)、「関心がない」(16.4%)、「何かの特典がもらえるなら利用したい」(7.4%)。

■図表 利用意向：特定健診やがん検診■



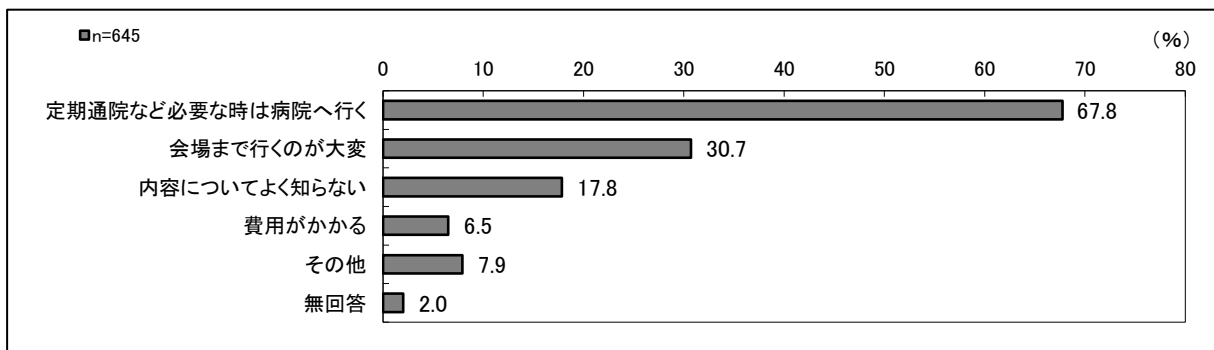
(5) 利用したくない理由：特定健診やがん検診

※ 問 59 で「3. 利用したくない」「4. 関心がない」と回答した方にお聞きします。

問 59-1 その理由は何ですか。

「定期通院など必要な時は病院へ行く」(67.8%) が他を大きく引き離して第 1 位。「会場まで行くのが大変」(30.7%)、「内容についてよく知らない」(17.8%)、「費用がかかる」(6.5%) がこれに続く。

■図表 利用したくない理由：特定健診やがん検診■

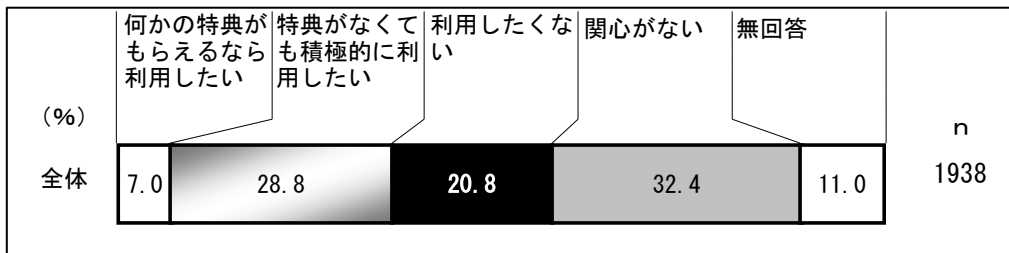


(6) 利用意向：介護予防事業（げんき活動コース）

問 60 健康増進や介護予防等のために、コミセンや福祉センターで帯広市が実施している介護予防事業（げんき活動コース）を今後利用したいと思いますか。

「関心がない」(32.4%)、「特典がなくても積極的に利用したい」(28.8%)、「利用したくない」(20.8%)、「何かの特典がもらえるなら利用したい」(7.0%)。

■ 図表 利用意向：介護予防事業（げんき活動コース） ■

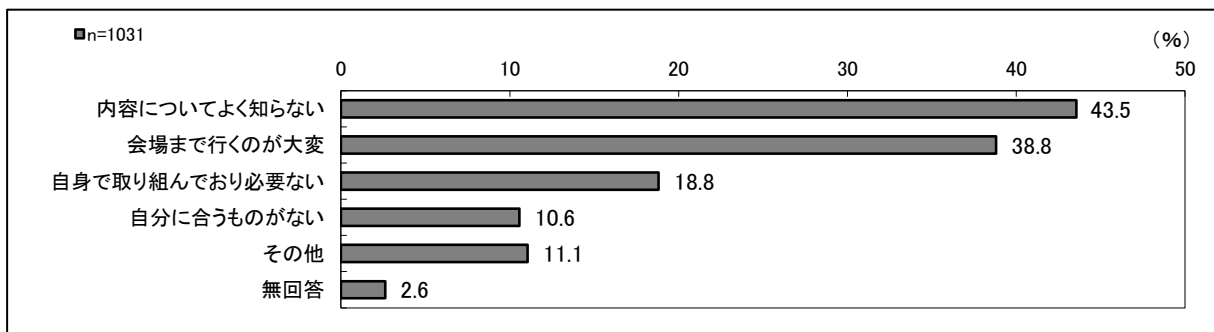


(7) 利用したくない理由：介護予防事業（げんき活動コース）

※ 問 60 で「3. 利用したくない」「4. 関心がない」と回答した方にお聞きします。
問 60-1 その理由は何ですか。

「内容についてよく知らない」(43.5%) が第1位。
「会場まで行くのが大変」(38.8%)、「自身で取り組んでおり必要ない」(18.8%)、「自分に合うものがない」(10.6%) がこれに続く。

■ 図表 利用したくない理由：介護予防事業（げんき活動コース） ■

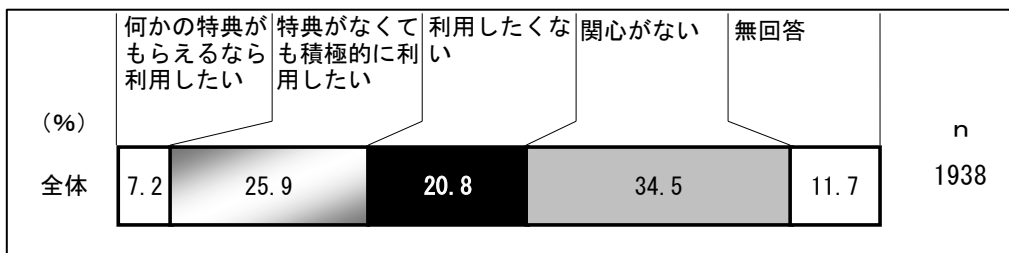


(8) 利用意向：地域交流サロン

問 61 健康増進や介護予防等のために、地域交流サロン（誰でも参加できる交流の場）を今後利用したいと思いますか。

「関心がない」(34.5%)、「特典がなくても積極的に利用したい」(25.9%)、「利用したくない」(20.8%)、「何かの特典がもらえるなら利用したい」(7.2%)。

■図表 利用意向：地域交流サロン■

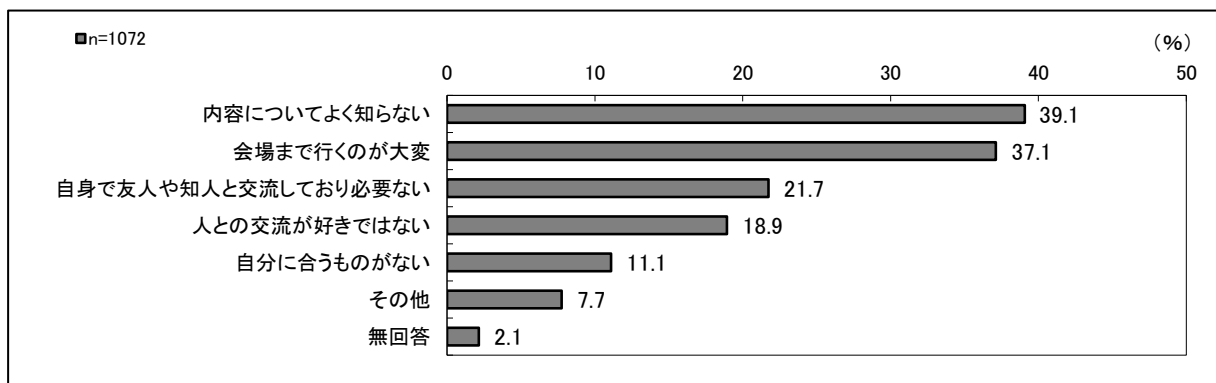


(9) 利用したくない理由：地域交流サロン

※ 問 61 で「3. 利用したくない」「4. 関心がない」と回答した方にお聞きします。
問 61-1 その理由は何ですか。

「内容についてよく知らない」(39.1%) が第1位。
「会場まで行くのが大変」(37.1%)、「自身で友人や知人と交流しており必要ない」(21.7%)、「人との交流が好きではない」(18.9%)、「自分に合うものがない」(11.1%) がこれに続く。

■図表 利用したくない理由：地域交流サロン■

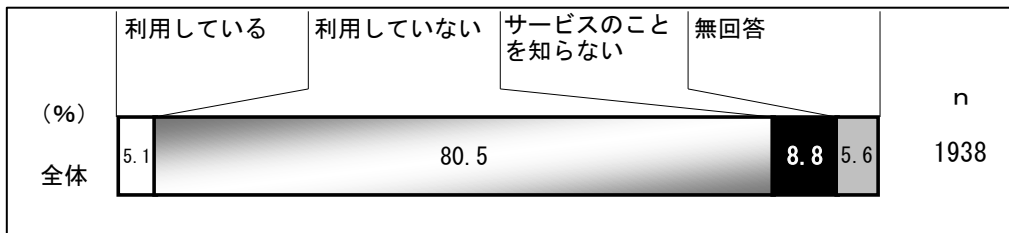


(10) 利用状況：民間の配食サービス

問 62 民間の配食サービス(栄養バランスのとれた食事を希望日に定期で宅配します。)を利用してありますか。

「利用していない」(80.5%)、「サービスのことを知らない」(8.8%)、「利用している」(5.1%)。

■図表 利用状況：民間の配食サービス■

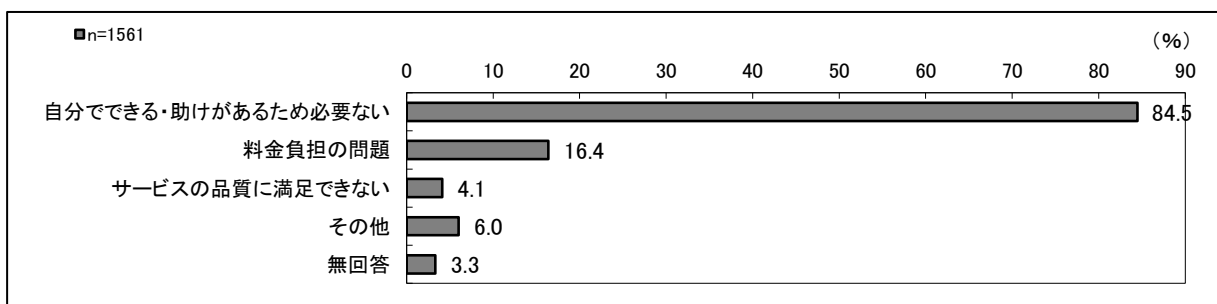


(11) 使用していない理由：民間の配食サービス

※ 問 62 で「2. 利用していない」と回答した方にお聞きします。
問 62-1 その理由は何ですか。

「料金負担の問題」(16.4%)、「サービスの品質に満足できない」(4.1%)。

■図表 使用していない理由：民間の配食サービス■

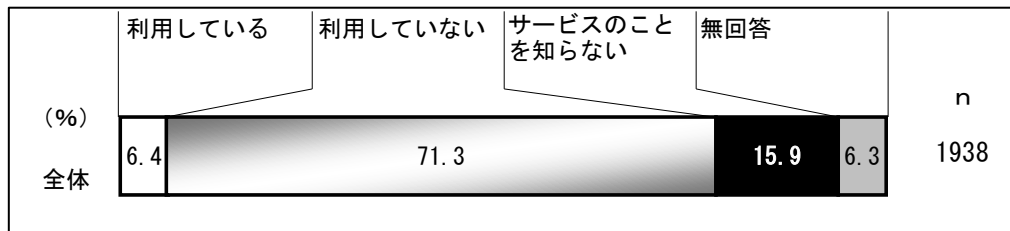


(12) 利用状況：民間の安否確認サービス

問 63 民間の安否確認サービス（宅配や電話などで無事かどうか確認します。）を利用していますか。

「利用していない」（71.3%）、「サービスのことを知らない」（15.9%）、「利用している」（6.4%）。

■図表 利用状況：民間の安否確認サービス■



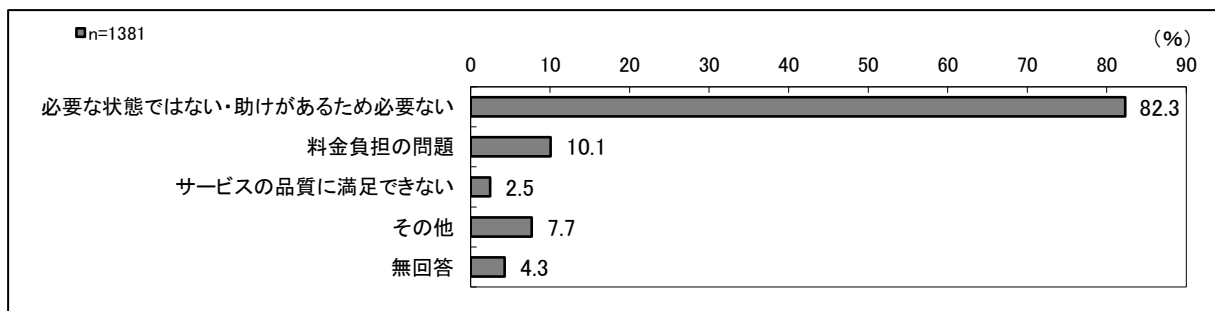
(13) 使用していない理由：民間の安否確認サービス

※ 問 63 で「2. 利用していない」と回答した方にお聞きします。

問 63-1 その理由は何ですか

「料金負担の問題」（10.1%）、「サービスの品質に満足できない」（2.5%）。

■図表 使用していない理由：民間の安否確認サービス■

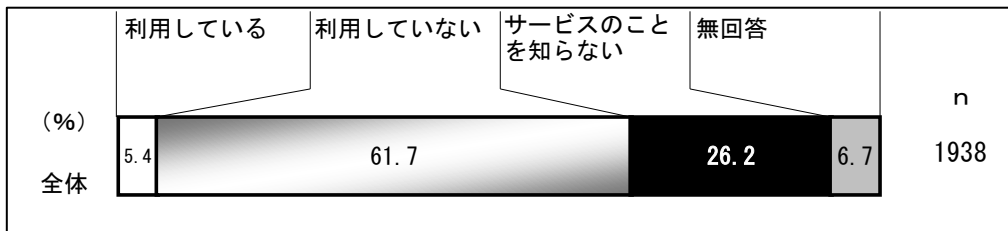


(14) 利用状況：民間の緊急通報サービス

問 64 民間の緊急通報サービス（通報時の専門スタッフによる救急車要請などの対応を行います。）を利用していますか。

「利用していない」（61.7%）、「サービスのことを知らない」（26.2%）、「利用している」（5.4%）。

■図表 利用状況：民間の緊急通報サービス■



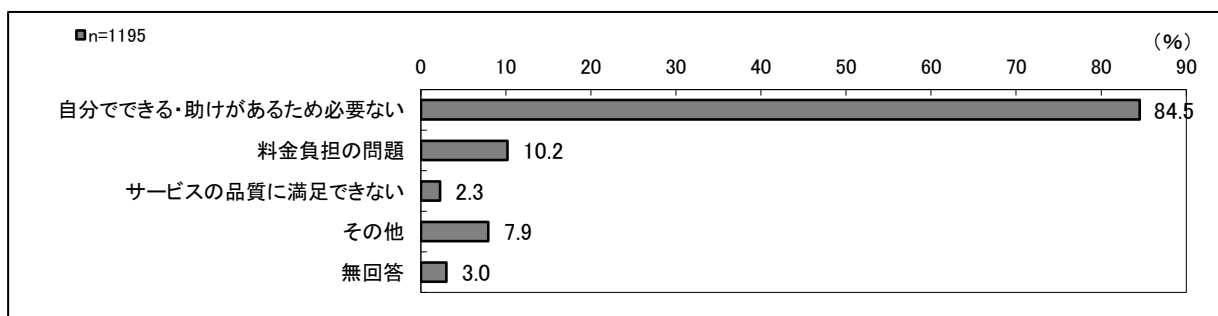
(15) 使用していない理由：民間の緊急通報サービス

※ 問 64 で「2. 利用していない」と回答した方にお聞きします。

問 64-1 その理由は何ですか。

「料金負担の問題」（10.2%）、「サービスの品質に満足できない」（2.3%）。

■図表 使用していない理由：民間の緊急通報サービス■



(16) 利用状況：その他

問 65 利用したいその他のサービスがあれば、具体的な内容を記入してください。

【自由記述】



別紙参照

11. 将来の住まいについて

(1) 介護が必要になったとき：暮らしたい場所

問 66 もしあなたの介護度が進み、介護が必要な状態になった時、どこで介護を受けながら暮らしたいですか。

「家族の支援・サービス利用し自宅で過ごしたい」(36.5%)が第1位。
 「特別養護老人ホーム等の施設へ入所したい」(14.3%)、「高齢者住宅に住んでサービスを受けたい」(14.2%)、「介護付き有料老人ホーム等へ入所したい」(7.8%)、「わからない」(19.5%)がこれに続く。

■図表 介護が必要になったとき：暮らしたい場所■

(%)	家族の支援・サービス利用し自宅で過ごしたい	高齢者住宅に住んでサービスを受けたい	介護付き有料老人ホーム等へ入所したい	特別養護老人ホーム等の施設へ入所したい	わからない	無回答	n
全体	36.5	14.2	7.8	14.3	19.5	7.6	1938

(2) 介護が必要になったとき：負担可能額／月

問 67 もしあなたが高齢者向けのケア付き住宅や介護施設で介護サービスを受ける場合、食費や居住費（滞在費）を含んで負担可能な額は1か月あたりいくらですか。

「6万円未満」(25.0%)、「6万円以上 10万円未満」(28.0%)で過半数を超える(53.0%)。

■図表 ■

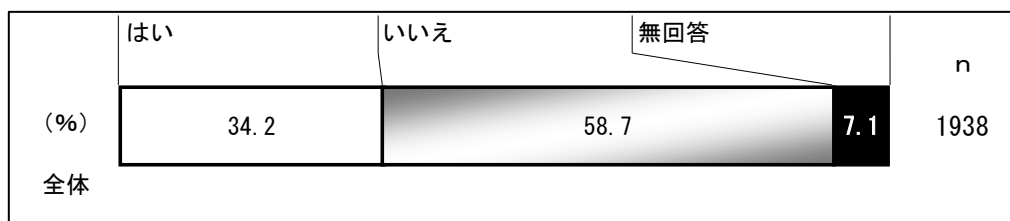
(%)	6万円未満	6万円以上10万円未満	10万円以上13万円未満	13万円以上15万円未満	15万円以上	わからない	無回答	n
全体	25.0	28.0	14.5	6.7	16.2	7.7	2.0	1938

(3) 意思表示が出来なくなった時に備えて家族と話し合ったこと

問 68 病気や認知機能の低下等により意思表示ができなくなった時のために、自分の望むケアや医療について考えたり、家族と話し合ったりしたことがありますか。

「はい」(34.2%)、「いいえ」(58.7%)。

■図表 意思表示が出来なくなった時に備えて家族と話し合ったこと■

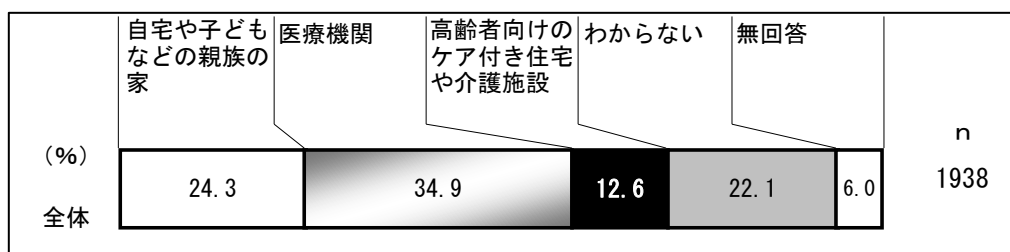


(4) 最期を迎えたい場所

問 69 もしあなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

「医療機関」(34.9%)が第1位。
 「自宅や子どもなどの親族の家」(24.3%)、「高齢者向けのケア付き住宅や介護施設」(12.6%)がこれに続く。

■図表 最期を迎えたい場所■



(5) 医療機関や介護施設等で最期を迎えたい理由

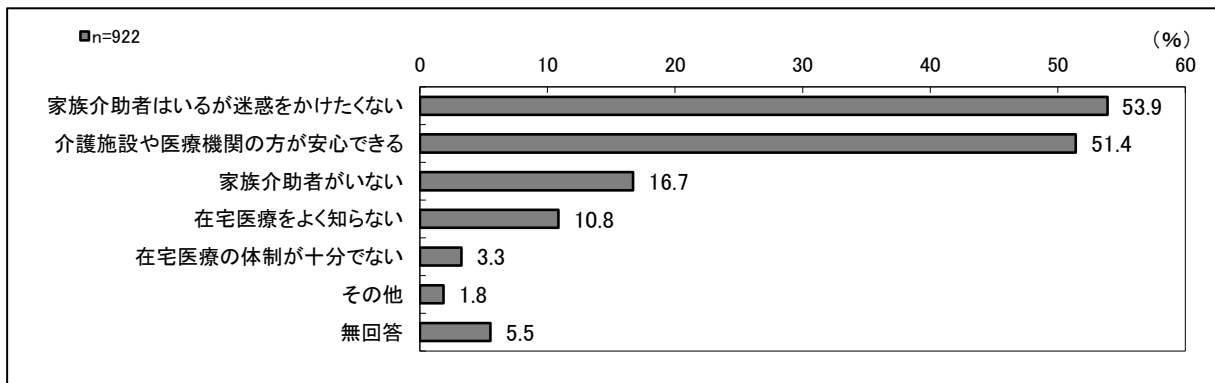
※ 問 69 で「2. 医療機関」「3. 高齢者向けのケア付き住宅や介護施設」と回答した方にお聞きします。

問 69-1 その理由は何ですか。【複数回答】

「家族介護者はあるが迷惑をかけたくない」(53.9%)、「介護施設や医療機関の方が安心できる」(51.4%) に回答が集まる。

「家族介護者がいない」(16.7%)、「在宅医療をよく知らない」(10.8%)、「在宅医療の体制が十分でない」(3.3%) がこれに続く。

■ 図表 医療機関や介護施設等で最期を迎えたい理由 ■



12. 介護保険制度について

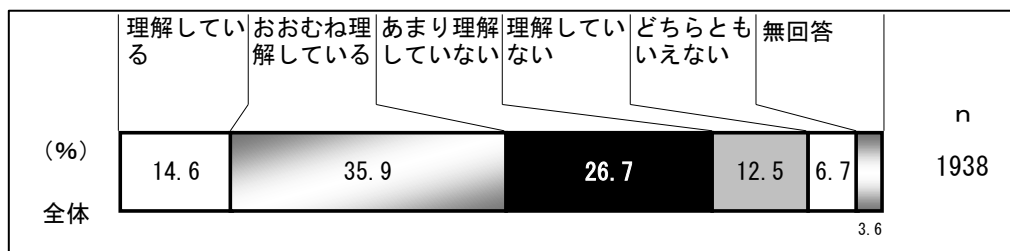
(1) 介護保険制度の内容についての理解

問 70 介護保険料や要介護認定、介護サービスなどの内容について理解していますか。



「理解している」(14.6%)、「おおむね理解している」(35.9%)が、合わせて50.5%。
「理解していない」(12.5%)、「あまり理解していない」(26.7%)は、合わせて39.2%

■ 図表 介護保険制度の内容についての理解 ■



(2) 1か月あたりの適当な自己負担額

問 71 もしあなたが介護保険のサービスを利用した場合、1か月あたりの自己負担額として適当と考える支払額はいくらですか。(食費や居住費〔滞在費〕を除きます)

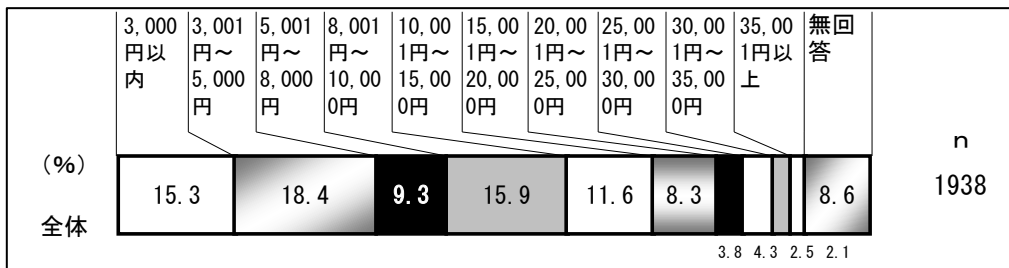


78.8%が20,000円の範囲内で回答。

(内訳)

- 「3,000円以内」(15.3%)
- 「3,001円～5,000円」(18.4%)
- 「5,001円～8,000円」(9.3%)
- 「8,001円～10,000円」(15.9%)
- 「10,001円～15,000円」(11.6%)
- 「15,001円～20,000円」(8.3%)
- 「20,001円～25,000円」(3.8%)
- 「25,001円～30,000円」(4.3%)
- 「30,001円～35,000円」(2.5%)
- 「35,001円以上」(2.1%)

■図表 1か月あたりの適当な自己負担額■

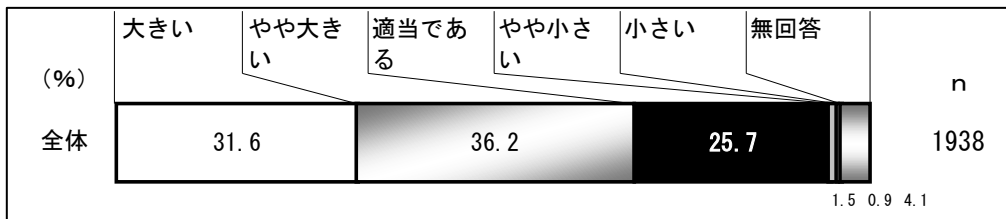


(3) 介護保険料の負担感

問 72 あなたが納めている介護保険料の負担感はどの程度ですか。

「大きい」(31.6%)、「やや大きい」(36.2%)が、合わせて67.8%。
「小さい」(0.9%)、「やや小さい」(1.5%)は、合わせて2.4%。

■図表 介護保険料の負担感■



(4) 介護保険制度全般に対する意見等

問 73 今回のアンケート調査項目以外に、介護保険制度全般について何かご意見などございましたらご記入ください。【自由記述】

別紙参照